

令和 7 年 4 月 1 日
中 部 地 方 整 備 局

令和 7 年度中部地方整備局関係予算の概要について

配分総額： 7, 945 億円

令和 7 年度中部地方整備局関係配分予算は、中部圏経済や国民の命と暮らしを守り抜くため、防災・減災及び国土強靱化を推進するとともに、「新しい資本主義」の加速、「新時代に地域力をつなぐ国土」の実現を図るため、令和 7 年度予算では、「国民の安全・安心の確保」「持続的な経済成長の実現」「地方創生 2.0 に資する個性をいかした地域づくりと分散型国づくり」の 3 点を柱に、令和 6 年度補正予算と合わせて切れ目なく取組を進め、施策効果の早期発現を目指します。

1. 添付資料

令和 7 年度中部地方整備局関係予算の概要

なお中部地方整備局WEBサイトにも掲載されております。

<https://www.cbr.mlit.go.jp/guidance/yosan/R7.htm>

2. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、静岡県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、三重県第二県政記者クラブ、飯田市記者クラブ、駒ヶ根市記者クラブ、伊那記者クラブ、塩尻桔梗ヶ原記者クラブ、山梨県政記者クラブ

3. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局

＜ 総 括 ＞	企 画 課 長	番場 良平	電話	052-953-8127
	会 計 課 長	中里 由亮	電話	052-953-8136
＜ 公 園 関 係 ＞	都 市 整 備 課 長	後藤 直紀	電話	052-953-8573
＜ 住 宅 関 係 ＞	住 宅 整 備 課 長	天 艸 開	電話	052-953-8574
＜ 河 川 関 係 ＞	河 川 計 画 課 長	小泉 陽彦	電話	052-953-8148
＜ 道 路 関 係 ＞	道 路 計 画 課 長	北川 洋平	電話	052-953-8168
＜ 港 湾 関 係 ＞	港 湾 計 画 課 長	松永 洋明	電話	052-209-6321
＜ 海 岸 関 係 ＞	河 川 計 画 課 長	小泉 陽彦	電話	052-953-8148
	港 湾 計 画 課 長	松永 洋明	電話	052-209-6321
＜ 官 庁 営 繕 関 係 ＞	計 画 課 長	斎藤 貴大	電話	052-953-8185

令和 7 年度 中部地方整備局関係予算の概要



令和 7 年 4 月

国土交通省中部地方整備局

令和 7 年度 中部地方整備局関係予算の概要

目 次

1. 令和 7 年度 中部地方整備局関係予算の基本方針	P. 1
2. 令和 7 年度 中部地方整備局関係予算の配分額	P. 7
3. 実施事例	
3－1. 実施事例（位置図）	P. 8
3－2. 整備事例（個 票）	P. 11
3－3. 施策事例（個 票）	P. 66
4. 県別の整備箇所事例一覧	P. 67
(参考資料)	
令和 7 年度の道路調査の見通しについて	P. 72

1. 令和7年度 中部地方整備局関係予算の基本方針

1) 配分方針

令和7年度中部地方整備局関係配分予算は、中部圏経済や国民の命と暮らしを守り抜くため、防災・減災及び国土強靱化を推進するとともに、「新しい資本主義」の加速、「新時代に地域力をつなぐ国土」の実現を図るため、令和7年度予算では、「国民の安全・安心の確保」「持続的な経済成長の実現」「地方創生2.0に資する個性をいかした地域づくりと分散型国づくり」の3点を柱に、令和6年度補正予算と合わせて切れ目なく取組を進め、施策効果の早期発現を目指します。

その際、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の着実な推進とともに、それに続く国土強靱化実施中期計画を見据えながら、継続的・安定的に切れ目なくこれまで以上に必要な事業が着実に進められるよう、防災・減災及び国土強靱化に取り組んで参ります。

①国民の安全・安心の確保

気候変動の影響により激甚化・頻発化する風水害や切迫する地震災害等に屈しない、強靱な国土づくりのため、気候変動による水害や土砂災害の激甚化に対抗する「流域治水」の加速化・深化、南海トラフ巨大地震対策、災害時における物流・人流の確保等に取り組み、国民の生命・財産・暮らしを守り抜く安全・安心な社会を構築します。

■^{きそがわ まきたがわ すいもんがわ}木曽川水系牧田川に合流する水門川では、流域の更なる治水安全度の向上を図るため「水門川流域整備計画アクションプラン（令和6年8月改定）」を策定し、あらゆる関係者が目標や実施時期を共有しながら、治水対策を推進しています。水門川の流末に位置する新旧水門川排水機場（^{おおがき よこぞね}大垣市横曽根地区）においては、国・県が協働し、牧田川左岸堤及び新旧水門川排水機場改修事業（特定構造物改築）を推進します。



牧田川左岸堤及び新旧水門川排水機場改修事業（イメージ図）

■^{しょうないがわ なごや びわじま きよす にしびわじま}庄内川の名古屋市枇杷島地区・清須市西枇杷島地区では、狭窄部であるとともに桁下高が低く、橋脚の間隔が狭い橋梁が横架していることから、国・県・市が協働し、庄内川枇杷島橋架替事業（特定構造物改築）を推進します。

■^{くもずがわ なかむらがわ はぜがわ あかがわ}雲出川水系では、「流域治水」の本格的な実践に向けて、令和5年3月に中村川・波瀬川・赤川等を特定都市河川に指定しました。令和6年6月には「雲出川水系中村川・波瀬川・赤川流域水害対策計画」を策定し、河道掘削・遊水地等のハード整備の加速化に加え、流域における貯留・浸透機能の向上、水害リスクを踏まえたまちづくり・住まいづくり等の浸水被害対策を流域一体で目標や実施時期を共有しながら、計画的・集中的に進めていきます。

■^{き そさんせん}木曾三川河口部に広がる^{のうび}濃尾平野は、我が国最大の海拔ゼロメートル地帯となっており、地震により堤防が被災し、津波や高潮により決壊すれば、甚大な被害が予想されることから、流域一体で浸水被害を軽減するため、沿川市町による「被害対象を減らす取組」と合わせ、木曾三川河口部耐震対策事業を推進します。

■ダム再生のモデルケースとなる^{しんまるやま}新丸山ダムでは、治水安全度の向上及び安定的な水の供給に向け、引き続き、本体工事、付替道路工事等を推進します。



新丸山ダム建設事業(イメージ図)

■^{したら}設楽ダムでは、治水安全度の向上及び安定的な水の供給に向け、引き続き、本体工事、付替道路工事等を推進します。

■^{てんりゅうがわ}天竜川の下伊那郡高森町では、国・町が協働し、^{やまぶき}天竜川山吹地区^{ミズベ}MIZBEステーション整備事業を推進します。^{てんりゅうがわ}天竜川上流域では、既設ダム等を最大限活用した調査・検討を行い、また、さらに増強が必要な場合には、既設ダムの改良、新設ダム等に関する調査・検討を行うため、治水機能増強検討調査に新規着手します。^{さくま}天竜川中下流部では、引き続き、既設の利水専用ダムの^{さくま}佐久間ダムを有効活用する天竜川ダム再編事業を推進します。

■木曾川水系直轄砂防事業では、重要交通網や要配慮者利用施設等に対する土砂・洪水氾濫被害、土石流被害を軽減するため、砂防施設整備を推進します。

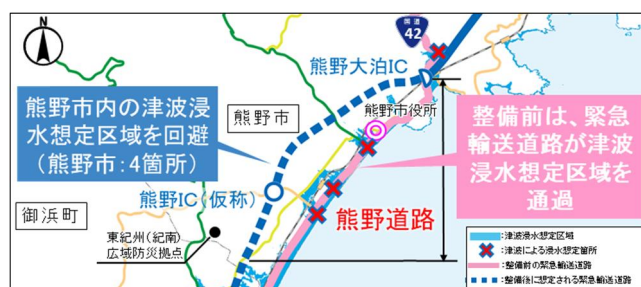
■^{しずおか}静岡県^{ゆい}由比地区では、豪雨や南海トラフ地震の発生等に伴う地すべりの発生により、重要交通網が分断され人命救助や経済活動に甚大な影響を及ぼすことが懸念されるため、地すべり対策を推進します。



由比地区地すべり対策事業

■^{ながしま}長島ダムでは、ダム貯水池機能（洪水調節容量）を回復するための堆砂対策（堆砂除去）を計画的・集中的に実施する堰堤改良事業（ダムリフレッシュ事業）を推進します。

■防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラムに基づき、高規格道路の未整備区間の整備等を推進し、地方部における生活圏人口の維持や大規模災害リスクへの対応に不可欠な災害に強い幹線道路ネットワークの構築を推進します。^{くまの}国道42号熊野道路、^{きほうくまの}紀宝熊野道路、^{いず}国道414号伊豆縦貫自動車道、^{さんえんなんしん}国道474号三遠南信自動車道等の整備を推進します。



国道42号熊野道路
津波浸水想定区域を回避

■道路施設（橋梁、トンネル、道路附属物、舗装等）の老朽化に対し、定期点検等により確認された修繕が必要な道路施設の対策を推進します。



【対策事例】橋梁の再塗装

■道路防災点検の結果に基づき、のり面等の落石・崩壊等危険箇所の防災対策を推進します。

■大規模地震による落橋・倒壊の防止に加え、橋としての機能を速やかに回復させるための橋梁の耐震対策を推進します。



【対策事例】橋梁の耐震補強

■道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光の観点から、無電柱化を推進します。



【整備事例】電線共同溝

■交通事故が多発している箇所やETC2.0プローブデータ等のビッグデータから判明した潜在的な危険箇所等に基づき、国土交通省と警察庁が合同で指定した「事故危険箇所」における交通事故対策を推進します。



【整備事例】交差点内の交通事故対策

■歩行者の交通安全を一層確保するため、教育委員会、警察等と連携した通学路合同点検等に基づく歩道整備などの対策を推進します。

■安全で快適な自転車利用環境の創出に向け、自転車通行空間の整備を推進します。

■^{するが}駿河海岸では、高潮・高波による施設の損傷や背後地の浸水・越波を防止するため、養浜工及び有脚式離岸堤の整備を推進します。また、切迫する南海トラフ巨大地震により津波が発生した場合、L1津波を超える津波においても減災効果を発現させるため、粘り強い構造の海岸堤防の整備を推進します。

■^{よつかいち}四日市港海岸では、背後地域の貴重な生命・財産を守るとともに、地域経済への被害を防ぐため、既存海岸保全施設の耐震対策等を推進します。

■港湾施設（岸壁、防波堤）の経年劣化が進行しているため、定期点検等の結果を踏まえ、将来にわたり港湾施設の機能を発揮できるように老朽化対策を推進します。



【対策事例】防波堤上部の改修

■津波来襲時の背後地域の浸水被害低減及び来襲後の港内静穏度確保のため、^{おまえざき めいわ}御前崎港女岩地区等において、防波堤の「粘り強い化」を推進します。

■^{きそさんせん}国営木曽三川公園について、所要の耐震性能を満たしていない既存施設の耐震化や老朽化への対応を図るため、水と緑の館等の再整備を推進します。

■官庁施設について、所要の耐震性能を満たしていない庁舎の耐震化や老朽化への対応を図るため、既存庁舎を集約し、大規模災害時に地域の防災拠点となる^{なごや}名古屋第4 地方合同庁舎の整備を推進します。

②持続的な経済成長の実現

現在を生きる我々や将来世代が安全・安心に活力ある日々を送るため、効率的な物流ネットワークの早期整備、社会資本整備の総合的支援、インフラDXの推進、担い手の確保・育成や生産性の向上等を推進します。

■^{かのがわ}狩野川水系^{ぬまづ あげつち}狩野川の沼津市上土周辺地区では、^{ぬまづ}国と沼津市が連携し、既存施設「^{かのがわ}かわのがわ風のテラス」や隣接する中央公園の更なるにぎわい向上のため、「^{ぬまづ}上土周辺地区水辺整備事業（親水護岸、管理用通路（坂路・スロープ）等）」に新たに着手します。

■シームレスな高規格道路ネットワークの構築に向けて、主要都市間の時間距離の短縮を図る道路ネットワークの強化、迅速かつ円滑な物流を実現する都市圏環状道路の整備、空港・港湾・高速鉄道駅等へのアクセス道路の整備を推進します。国道475号^{とうかいかんじょう}東海環状自動車道、国道158号^{ちゅうぶじゅうかん}中部縦貫自動車道、国道247号^{にしちた}西知多道路等の整備を推進します。



東海環状自動車道



中部縦貫自動車道（高山清見道路）



西知多道路（東海ジャンクション）

③地方創生2.0に資する個性をいかした地域づくりと分散型国づくり

豊かで活力ある地方を創るため、地域・拠点の連携を促す道路ネットワークの整備、地域の暮らしと産業を支える港湾整備等により、持続可能な地域活性化を推進します。

- ^{きんてつよっかいち}近鉄四日市駅における新たな交通結節点として、3箇所^{きんてつよっかいちえき}に分散している路線バス・高速バスの乗降場を集約し、歩行者の円滑な移動・乗換を支援する国道1号近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業を推進します。

- 時間的・空間的に偏在する交通需要や渋滞に対して、データを活用した分析により、国道139号小泉若宮局所^{こいずみわかみや}渋滞対策などの道路のサービスレベル向上に向けた取組を実施します。



国道139号小泉若宮局所渋滞対策

- ものづくり産業を支える物流機能や生産性の向上、国際競争力強化を図るため、^{しみず しんおきつ}清水港新興津地区、^{なごや とびしま}名古屋港飛島ふ頭地区、^{きぬうら たけとよきた}衣浦港武豊北ふ頭地区、^{よっかいち かすみがうら}四日市港霞ヶ浦地区等の港湾機能の強化を推進します。



清水港新興津地区
国際物流ターミナル整備事業



名古屋港ふ頭再編整備事業
(飛島ふ頭地区)



衣浦港武豊北ふ頭地区
国際物流ターミナル整備事業



四日市港霞ヶ浦地区
国際物流ターミナル整備事業

- ^{きそさんせんこうえん}国営木曽三川公園のさらなる利用促進を図るため、ワイルドネイチャープラザの園路整備を推進します。

＜中部地方整備局関係予算の配分額＞

配分事業費 7, 9 4 5億円

内 訳	（	歳出 :	直轄	3, 0 1 9億円	）
			補助等	4, 9 2 6億円	

国庫債務負担行為（ゼロ国債） 1 7 1 億円

内 訳	（		直轄	1 6 4億円	）
			補助等	7 億円	

（注1）計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合があります。

（注2）別途、災害復旧に必要な対応を行うための所要の経費があります。

2. 令和7年度中部地方整備局関係予算の配分額

(1) 事業別配分額【直轄】

(単位:百万円)

区 分	R7年度					R6年度		
	本省配分	整備局配分 (一括配分)	計	国庫債務負担行為(ゼロ国債)		本省配分	整備局配分 (一括配分)	計
				平準化等	事業加速円滑化			
治 水	66,533	18,948	85,482	7,656	1,974	67,595	18,724	86,320
海 岸	3,020	0	3,020	350	0	3,217	0	3,217
道 路	114,352	72,609	186,961	4,418	0	118,562	66,279	184,841
港 湾	19,006	0	19,006	1,923	0	18,915	0	18,915
都 市 水 環 境 整 備	387	857	1,244	95	0	340	843	1,183
国 営 公 園 等	1,706	0	1,706	0	0	1,748	0	1,748
官 庁 営 繕	3,709	783	4,493	0	0	0	1,791	1,791
合 計	208,713	93,197	301,910	14,442	1,974	210,377	87,638	298,015

(2) 事業別配分額【補助等】

(単位:百万円)

区 分	R7年度					R6年度		
	本省配分	整備局配分 (一括配分)	計	国庫債務負担行為(ゼロ国債)		本省配分	整備局配分 (一括配分)	計
				平準化等	事業加速円滑化			
治 水	20,562	0	20,562	0	0	19,494	0	19,494
海 岸	1,788	56	1,844	0	0	2,192	70	2,262
道 路	107,344	0	107,344	0	0	102,634	0	102,634
港 湾	5,408	1,050	6,458	0	710	5,979	589	6,568
空 港 整 備	1,588	0	1,588	0	0	1,618	0	1,618
住 宅 対 策	1,351	4,764	6,116	0	0	0	4,926	4,926
市 街 地 整 備	31,439	0	31,439	0	0	29,982	0	29,982
上 下 水 道	151	609	760	0	0	112	264	376
水 道	2,322	2,618	4,940	0	0	2,147	635	2,782
下 水 道	13,261	9,826	23,087	0	0	9,698	6,324	16,022
国 営 公 園 等	787	0	787	0	0	899	0	899
社 会 資 本 整 備 金	150,827	0	150,827	0	0	144,369	0	144,369
防 災 ・ 安 全 金	136,071	0	136,071	0	0	143,950	0	143,950
推 進 費 等	788	0	788	0	0	531	0	531
合 計	473,686	18,924	492,609	0	710	463,604	12,808	476,412

(3) 補助事業等の県別配分額

(単位:百万円)

県	R7年度					R6年度		
	補助	交付金	計	国庫債務負担行為(ゼロ国債)		補助	交付金	計
				平準化等	事業加速円滑化			
岐阜県	24,596	38,137	62,733	0	0	23,464	38,587	62,051
静岡県	56,892	73,056	129,947	0	0	52,868	72,872	125,740
愛知県	98,008	122,467	220,475	0	710	91,430	127,685	219,114
三重県	26,215	53,239	79,454	0	0	20,331	49,175	69,506
合 計	205,711	286,898	492,609	0	710	188,093	288,319	476,412

(注1) 数字は、事業費ベースです。

(注2) 国庫債務負担行為(ゼロ国債)は、本省配分と一括配分の合計です。

(注3) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合があります。

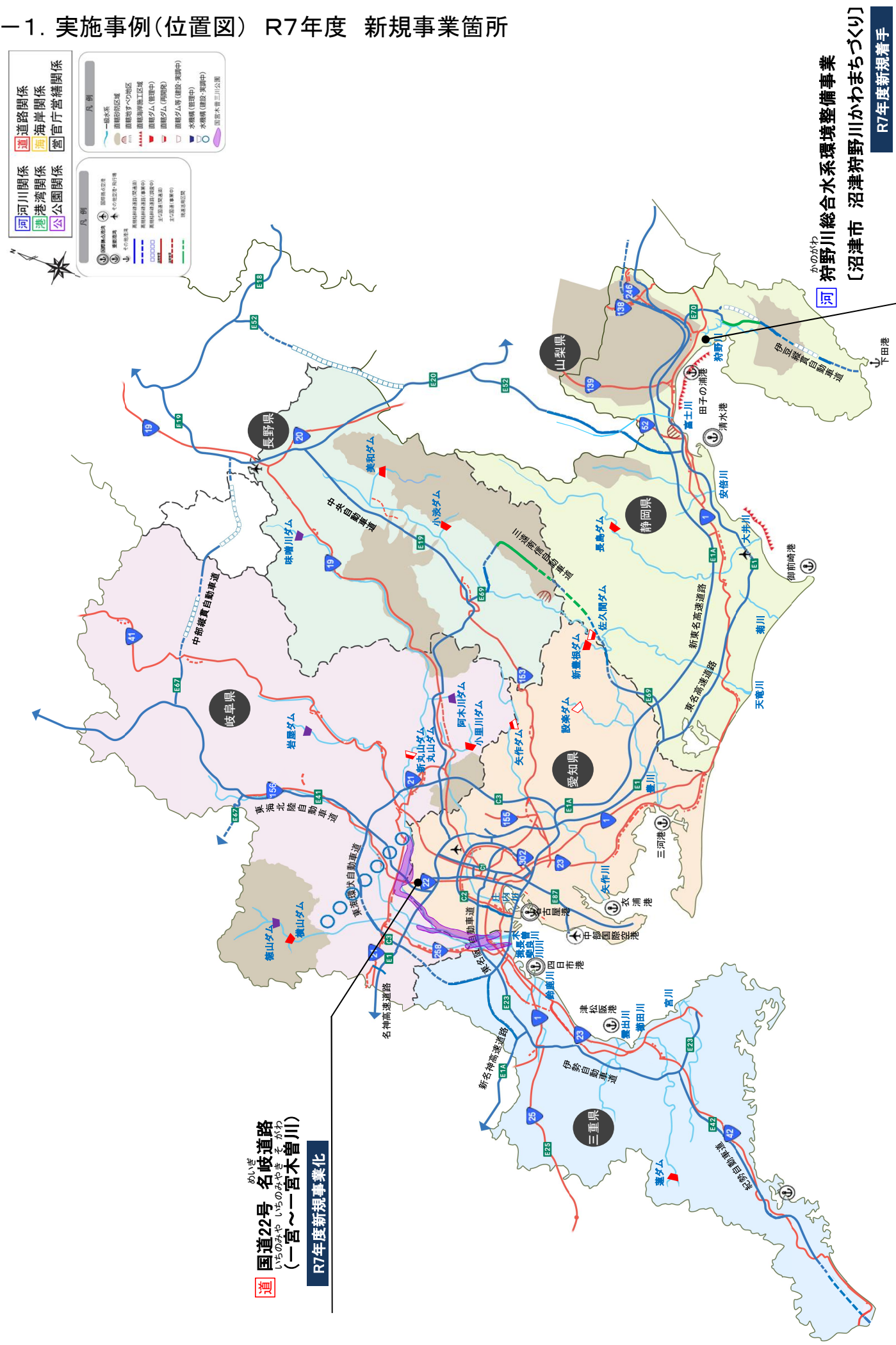
(注4) 本省が全国的な観点から事業執行の判断を要するものは本省配分、中央省庁等改革基本法に基づき地方支分部局に配分権限を委任したものを一括配分としています。

(注5) 当資料の次ページ以降に記載している完成予定、開通予定については、事業進捗等により今後、変更する場合があります。

(注6) 国庫債務負担行為(ゼロ国債)の「平準化等」は公共工事等の実施時期の平準化等を図るためのものをさし、「事業加速円滑化」は防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に基づく事業等について計画的かつ円滑な事業執行を図るためのものをさします。

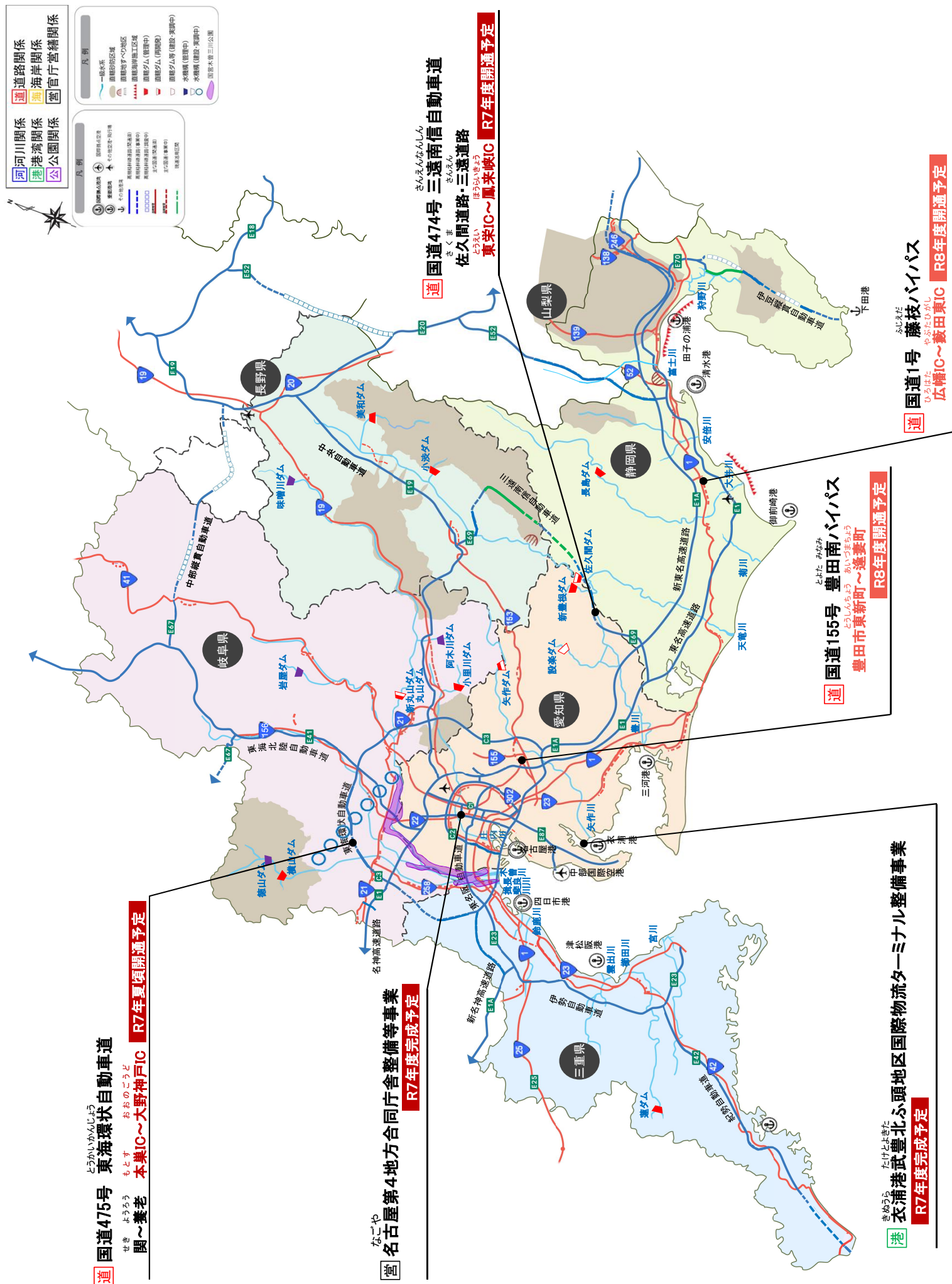
(注7) 別途、災害復旧に必要な対応を行うための所要の経費があります。

3-1. 実施事例(位置図) R7年度 新規事業箇所

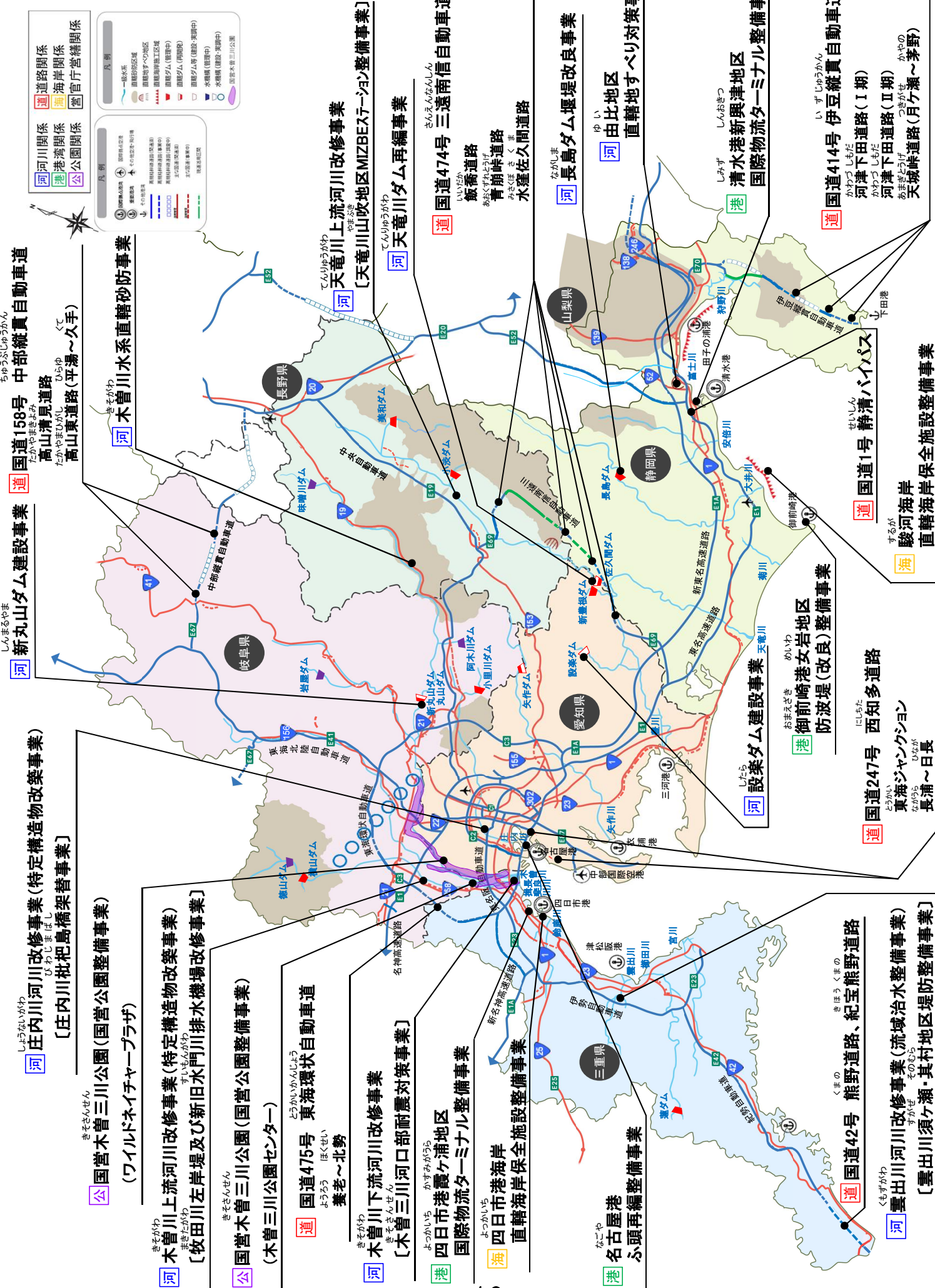


※ 新規事業のほかに、天竜川上流において治水機能増強検討調査を実施

3-1. 実施事例(位置図) R7年度完成事業、今後の完成予定事業



3-1. 実施事例(位置図) 主な継続事業



3-2. 整備事例（個 票）

- （岐阜県） 岐 1 【河川】 きそがわ 木曾川上流河川改修事業
 岐 2 【河川】 しんまるやま 新丸山ダム建設事業
 岐 3 【道路】 とうかいかんじょう 国道 475 号 東海環状自動車道 ほか
 岐 4 【公園】 きそさんせん 国営木曾三川公園
- （静岡県） 静 1 【河川】 かのがわ 狩野川総合水系環境整備事業
 静 2 【河川】 てんりゅうがわ 天竜川ダム再編事業
 静 3 【河川】 ゆい 由比地区 直轄地すべり対策事業
 静 4 【河川】 ながしま 長島ダム堰堤改良事業
 静 5 【海岸】 するが 駿河海岸 直轄海岸保全施設整備事業
 静 6 【道路】 いずじゅうかん 国道 1 号 国道 414 号 伊豆縦貫自動車道 ほか
 静 7 【港湾】 しみず しんおきつ 清水港新興津地区国際物流ターミナル整備事業
 静 8 【港湾】 おまえざき めいわ 御前崎港女岩地区防波堤（改良）整備事業
- （愛知県） 愛 1 【河川】 しょうないがわ 庄内川河川改修事業
 愛 2 【河川】 したら 設楽ダム建設事業
 愛 3 【道路】 さんえんなんしん 国道 474 号 三遠南信自動車道 ほか
 愛 4 【港湾】 なごや 名古屋港ふ頭再編整備事業
 愛 5 【港湾】 きぬうら たけとよきた 衣浦港武豊北ふ頭地区国際物流ターミナル整備事業
 愛 6 【営繕】 なごや 名古屋第 4 地方合同庁舎整備等事業
- （三重県） 三 1 【河川】 くもずがわ 雲出川河川改修事業
 三 2 【河川】 きそがわ 木曾川下流河川改修事業
 三 3 【道路】 とうかいかんじょう 国道 475 号 東海環状自動車道 ほか
 三 4 【港湾】 よっかいち かすみがうら 四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業
 三 5 【海岸】 よっかいち 四日市港海岸直轄海岸保全施設整備事業
- （長野県） 長 1 【河川】 てんりゅうがわ 天竜川上流河川改修事業
 長 2 【河川】 きそがわ 木曾川水系直轄砂防事業
 長 3 【道路】 さんえんなんしん 国道 474 号 三遠南信自動車道

きそがわ
木曽川上流河川改修事業

まきたがわ すいもんがわ
牧田川左岸堤及び新旧水門川排水機場改修事業(特定構造物改築)

令和7年度当初:32.0億円
(岐阜県分:28.9億円、愛知県分3.1億円)

1. 事業の必要性及び概要

木曽川水系牧田川に合流する水門川では、流域の更なる浸水被害の軽減に向けて、「水門川流域整備計画アクションプラン」を令和2年3月に策定(令和6年8月改定)し、流域のあらゆる関係者が目標や実施時期を共有しながら、治水対策を実施しています。

水門川の最下流部に位置する新水門川排水機場(国管理)及び水門川排水機場(岐阜県管理)は、設置から50年以上が経過し、老朽化が著しくなっています。また、現況の牧田川左岸堤防は高さや厚みが不足しているため、排水機場と牧田川左岸堤防の一体的な整備を実施しています。

2. 事業箇所

おおがき
岐阜県 大垣市



3. 令和7年度実施予定内容及び現在の実施状況

引き続き、地盤改良、水路切替等を実施。



4. 整備効果

重点:①国民の安全・安心の確保

水門川流域における流域治水の加速化・深化

- 水門川流域では、あらゆる関係者の協働により浸水被害の軽減を図るため、「水門川流域整備計画アクションプラン」を令和2年3月に策定(令和6年8月改定)し、国による牧田川左岸堤及び新旧水門川排水機場改修事業のほか、岐阜県や大垣市、神戸町と目標や実施時期を共有しながら治水対策を実施しています。

<現在実施している主な治水対策(ハード整備)>

雨水調節池整備、公共施設を活用した流出抑制対策



雨水調節池の整備
(大垣市役所新庁舎:大垣市)



校庭貯留の実施
(北小学校:大垣市)

洪水調整池整備、河床掘削等による河川改修

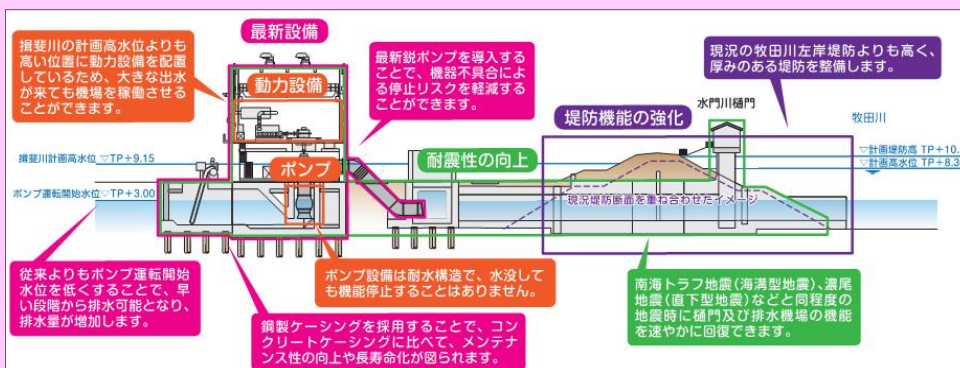


洪水調節池の整備
(加納川洪水調整池:岐阜県)



河床掘削の実施
(水門川:岐阜県)

牧田川左岸堤及び新旧水門川排水機場改修事業(特定構造物改築)

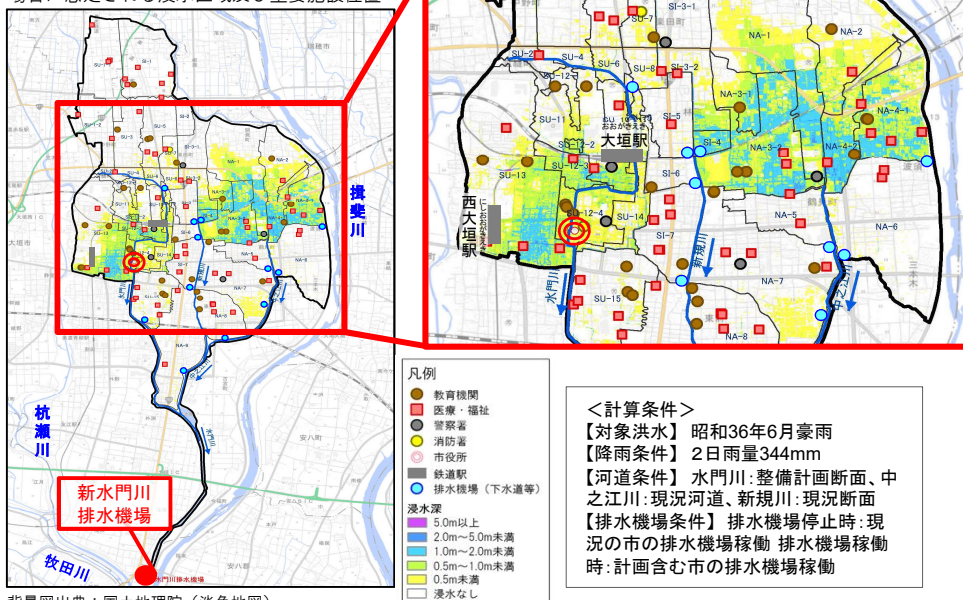


【対策】

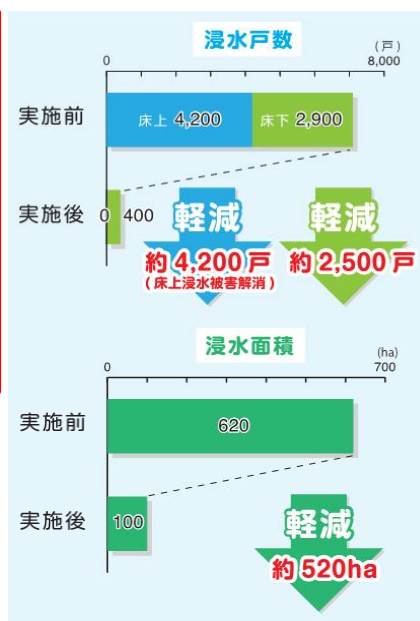
- ① 最新鋭のポンプ導入による洪水初期の排水能力強化、機械停止リスクの軽減、長寿命化
- ② 動力設備のかさあげ、耐水構造の強化により、排水機場周辺が浸水しても機能停止しない
- ③ 耐震性が向上(南海トラフと同程度の地震発生時に樋門及び排水機場の機能を速やかに回復
- ④ 牧田川左岸堤防の整備(堤防の高さと厚みを十分に確保

- 「水門川流域整備計画アクションプラン」に位置付けられたあらゆる関係者による治水対策を実施することで、昭和36年6月洪水と同規模の洪水が発生した場合、浸水世帯数約400世帯に減少し、床上浸水被害が解消されます。

昭和36年6月洪水と同規模の洪水が発生した場合に想定される浸水区域及び重要施設位置



背景図出典: 国土地理院(淡色地図)



しんまるやま
新丸山ダム建設事業

令和7年度当初:161.6億円

1. 事業の必要性及び概要

木曾川^{きそがわ}は我が国有数の大河川であり、流域には約235万人が生活し、この地域の産業・経済・社会・文化の発展の基盤となっています。一方、下流部は、我が国最大のゼロメートル地帯であり、ひとたび災害等が発生した場合には、被害は甚大となります。

そのため、本事業では既設丸山ダムの堤体を嵩上げし、洪水調節機能を強化することにより、木曾川中下流部の洪水氾濫から人々の暮らしを守るとともに、流水の正常な機能の維持及び発電を行います。

2. 事業箇所

右岸:岐阜県加茂郡八百津町^{かもぐん やおつちよう}

左岸:岐阜県可児郡御嵩町^{かにぐん みたけちよう}

(木曾川水系木曾川^{きそがわ きそがわ})



3. 令和7年度実施予定内容及び現在の実施状況
引き続き、本体工事、付替道路工事等を実施。



新丸山ダム完成予想図



新丸山ダム本体全景状況



付替道路418号(7号橋)



左岸減勢工 コンクリート打設状況

4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

昭和58年9月の台風10号及び秋雨前線による戦後最大洪水により、美濃加茂市及び坂祝町、可児市などで甚大な被害が発生。河川改修と合わせて新丸山ダムを整備することにより、同規模の洪水を安全に流下させることが可能となります。

被災家屋：4,588戸



昭和58年9月洪水での浸水範囲



写真1:軒下まで浸水した家屋



写真2:消防団員により救出される被災者

付替道路により八百津町市街地～恵那市飯地地区間の移動時間の大幅な短縮となります。

県道篠原八百津線・県道恵那八百津線経由：約75分
付替国道418号(丸山バイパス)経由：約35分

また、社会インフラを活用した地域振興の取組として、付替道路事業として建設した「新旅足橋」で八百津町が必要な許可を受け、運営会社がバンジージャンプを開始しています。



国道475号 とうかいかんじょう 東海環状自動車道
 国道158号 ちゅうぶじゅうかん 中部縦貫自動車道

令和7年度当初【東海環状自動車道】：330.2億円
 【岐阜県分】：220.6億円
 【中部縦貫自動車道】：36.9億円

1. 事業の必要性及び概要

- 東海環状自動車道は、地域活性化・地域開発の支援を目的とした中京圏の環状道路を形成する延長約153kmの高規格道路です。
- 中部縦貫自動車道は、高速アクセス性の向上（観光の周遊性向上）や並行する国道158号の交通渋滞の緩和、救急医療活動の支援等を目的に計画された高規格道路です。



2. 事業箇所

- 東海環状自動車道：愛知県豊田市～三重県四日市市
- 中部縦貫自動車道：岐阜県高山市清見町夏厩～高山市丹生川町坊方
 ：岐阜県高山市奥飛騨温泉郷平湯～丹生川町久手

3. 令和7年度事業予定内容及び現在の実施状況

■ 東海環状自動車道

- 【関～養老(延長44.2km)】【養老～北勢(延長18.0km うち岐阜県9.0km)】
- 本巣IC～大野神戸IC(延長6.8km)の事業を推進。《令和7年夏頃開通予定》
 - 養老IC～いなべIC(延長18.0km)の改良工事、橋梁工事等を推進。

■ 中部縦貫自動車道

- 高山IC～丹生川IC(仮称)(延長9.5km)の改良工事、橋梁工事、トンネル工事等を推進。
- 平湯IC～久手IC(仮称)(延長5.6km)の調査設計を推進。



東海環状自動車道
早野高架橋付近



東海環状自動車道
海津PA 付近



中部縦貫自動車道
高山清見道路 下切高架橋付近

4. 整備効果

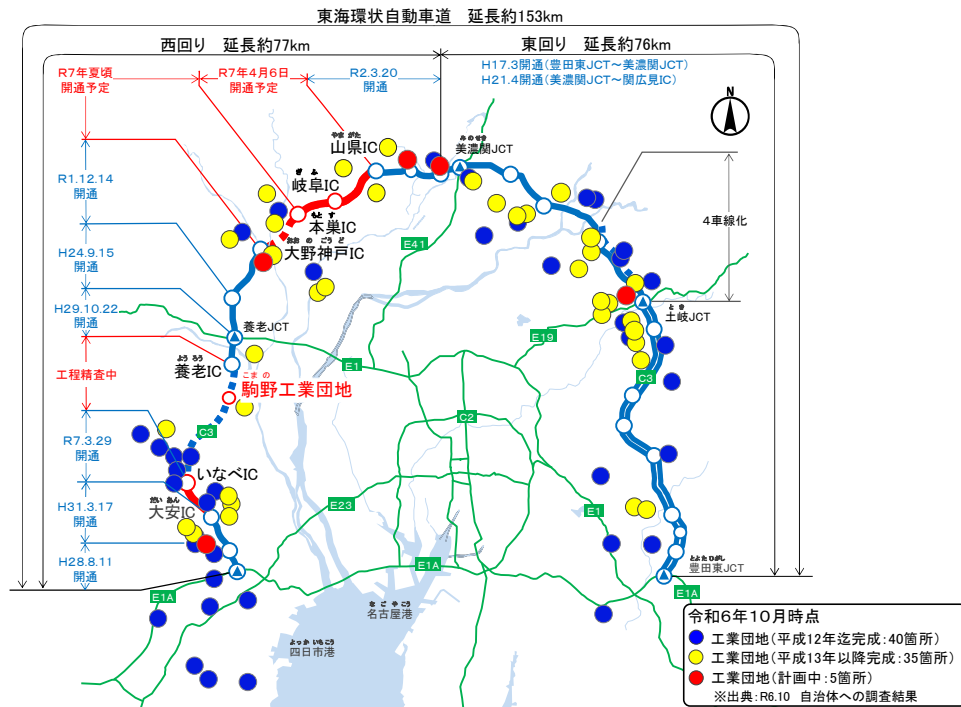
重点：②持続的な経済成長の実現

(東海環状自動車道)

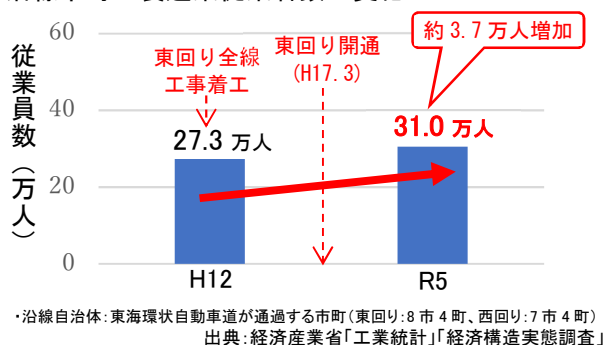
民需誘発！沿線自治体の経済の好循環を促し、沿線地域の産業振興を支援！

- 東海環状自動車道の整備進展に伴い、沿線地域の民間需要を喚起し、沿線地域の従業者数は約3.7万人増加、製造品出荷額等は約1.8倍増加
- 沿線地域の工業団地数は2倍に増加。西回り沿線の駒野工業団地では、全区画の進出企業が決定するなど、整備が進む
- 東海環状自動車道の早期全線開通を目指し、沿線地域の産業振興を支援

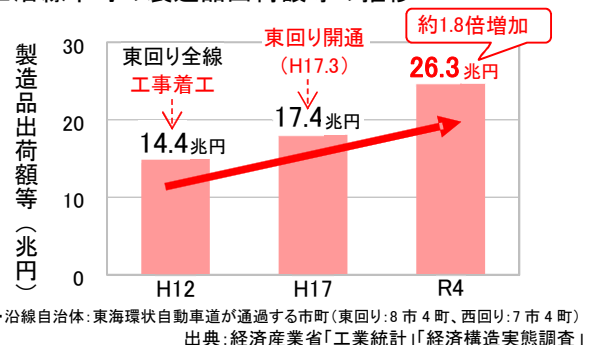
■東海環状自動車道沿線に分布する工業団地



■沿線市町の製造業従業者数の変化



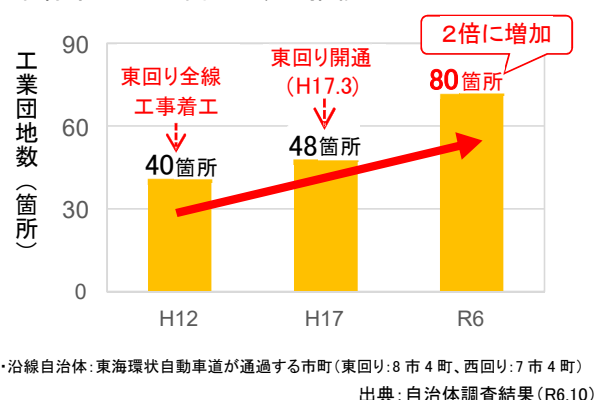
■沿線市町の製造品出荷額等の推移



■大野神戸 IC 周辺の開発状況



■沿線市町の工業団地数の推移



き そ さんせん
国営木曽三川公園（国営公園整備事業）

令和7年度当初：4.1億円
（岐阜県分：2.6億円、愛知県分：1.2億円、三重県分：0.3億円）

1. 事業の必要性及び概要

本公園は、東海地方の広域的レクリエーション需要に対応するため、木曽三川（木曽川、長良川、揖斐川）が有する広大なオープンスペースを活用して設置した国営公園です。

昭和55年度から事業着手し、昭和62年10月に木曽三川公園センターを一部供用開始して以来、平成27年度には部分開園を含む13拠点の全てを開園しました。その後も順次整備エリアを拡げ、令和7年3月にアクアワールド水郷パークセンター・大江緑道 万寿新田広場を追加供用することにより、令和6年度末現在、開園面積は約302.1haとなっています。令和5年度には年間約840万人に来園いただきました。今後、未供用区域の整備を進め追加供用することにより、さらなる利用促進を図ります。

令和7年度は、木曽三川公園センターの再整備、ワイルドネイチャープラザの園路整備等を推進します。



2. 事業箇所

岐阜県海津市海津町、愛知県稲沢市祖父江町祖父江、
岐阜県羽島市桑原町、三重県桑名市三之丸 等

3. 令和7年度事業予定内容

- ・木曽三川公園センター
- ・ワイルドネイチャープラザ
- ・桜堤サブセンター
- ・アクアワールド水郷パークセンター・大江緑道
- ・桑名七里の渡し公園

管理施設再整備、展示物設計設置
園路整備
敷地造成
管理施設整備
基本設計
等

国営木曽三川公園の主な整備箇所



4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

○国営木曽三川公園について、所要の耐震性能を満たしていない既存施設の耐震化や老朽化への対応を図ります。



水と緑の館

耐震化対策
老朽化対策



水と緑の館（イメージパース図）

重点：③地方創成 2.0 に資する個性をいかした地域づくりと分散型国づくり

地域活性化と観光振興

○木曽三川の雄大な河川空間を生かしたレクリエーションや健康づくりの推進に向け、河川管理者、沿川自治体との連携のもとサイクリングネットワークの整備、利活用に向けた取り組みを推進します。

○地域と連携したイベントの実施により地域の観光振興や賑わいの創出に、また、公園ボランティアの参画を進める事で、地域コミュニティの活性化にも貢献します。



スラックライン体験会
（アクアワールド水郷パークセンター）



公園ボランティアによる園芸活動
（フラワーパーク江南）



木曽三川を活用したサイクルツーリズムを
推進する首長等との集い 開催
（長良川サービスセンター）

自然環境や歴史・文化への理解の深化

○河川ならではの自然環境に配慮した公園整備を行う事で広域的な水と緑のエコロジカルネットワーク形成に貢献します。

○水辺に囲まれた公園の立地条件を生かした環境教育プログラムなどを実施し、訪れる人に対しての木曽三川の自然環境・歴史文化への理解の深化に貢献します。



復元した堀田における
田植え体験
（アクアワールド水郷パークセンター）

地域における防災・減災の寄与

○沿川自治体の地域防災計画における広域避難地・一次避難地としての活用や当該避難地における防災訓練など、地域の防災・減災機能強化に貢献します。



公園を利用した防災訓練
（東海広場）

かのがわ
狩野川総合水系環境整備事業
ぬまづ かのがわ
沼津狩野川かわまちづくり

令和7年度 新規着手

1. 事業の必要性及び概要

令和7年度当初:0.7億円

かのがわ
狩野川水系狩野川の沼津市上土周辺地区では、右岸側に既設の階段護岸があり、都市・地域再生等利用区域に指定され、「かのがわ風のテラス」として、隣接する中央公園や商業施設と一体的に活用されています。沼津市都市計画マスタープランでは、狩野川を活用したまちづくりが計画されており、国と沼津市が連携し、更なるにぎわいづくりのため、左岸側において「上土周辺地区水辺整備事業(親水護岸、管理用通路(坂路・スロープ)等)」に新たに着手します。

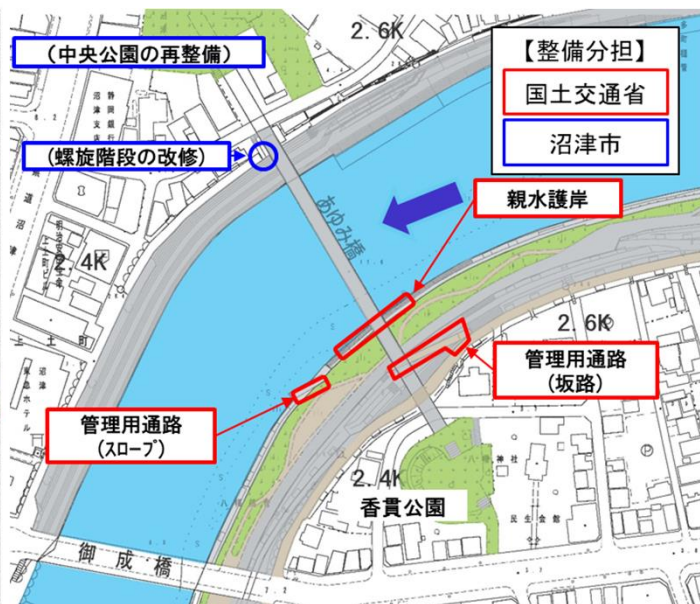
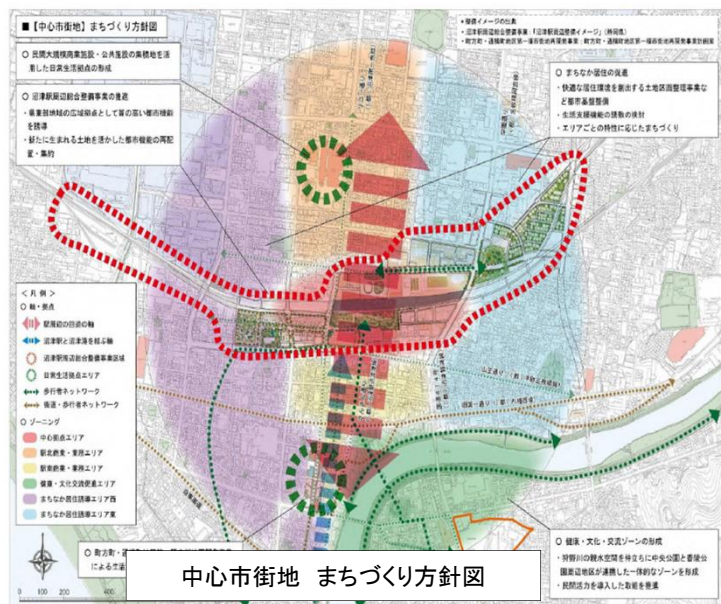


2. 事業箇所

ぬまづ
静岡県 沼津市

3. 令和7年度実施予定内容及び現在の実施状況

施設設計を実施。



整備イメージ

出典:第2次沼津市都市計画マスタープラン



螺旋階段整備(市)



親水護岸整備(国)



坂路整備(国)



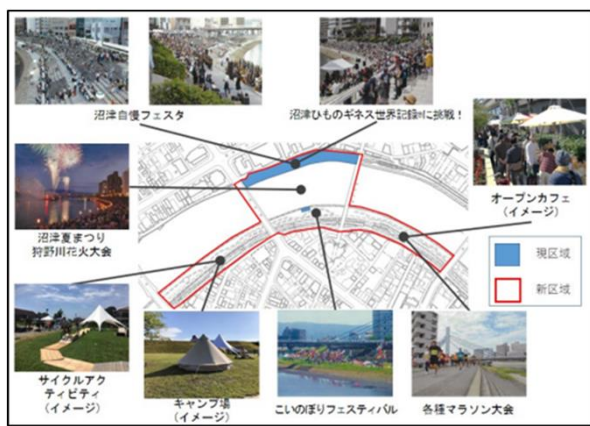
スロープ整備(国)

4. 整備効果

重点: ②持続的な経済成長の実現

- 沼津市では、沼津駅から約1kmの距離にある狩野川の河川区域が、平成26年に「都市・地域再生等利用区域」として指定され、令和3年に利用区域拡大指定がされており、「かのがわ風のテラス」と愛称がつけられております。
- 『かのがわ風のテラス』と市が再整備をする中央公園と連携しながら、更なる利用活性化を図るため、『沼津狩野川かわまちづくり計画』を新規登録しました。（令和6年8月）
- 当該地区と上流部の水辺整備拠点（塚本地区、神島地区）を巡るカヌー・SUPなどのイベント開催等による連携、下流部当該地区との特色のある連携（我入道の渡し）など、狩野川の上下流の水辺機能の連携を強化し、さらにサイクリングイベントの開催等により賑わいが創出されることで、流域全体の活性化が期待されます。

■現在の活用状況



更なる 利用活性化

■3拠点との連携



沼津狩野川かわまち整備イメージ（将来）



■上土周辺地区水辺整備事業の効果

- 整備後は整備前より年間利用者数、水面利用者数、歩行通行量(あゆみ橋)が約10%増となる見込みです。

評価指標	整備前	整備後
年間利用者数（人）	30,319	35,000
水面利用者数（人） ※年間7日の利用実態調査結果	71	80
歩行通行量（あゆみ橋）（人）	1,360	1,500

てんりゅうがわ
天竜川ダム再編事業

令和7年度当初:9.0億円

1. 事業の必要性及び概要

天竜川は我が国有数の大河川であり、約166万人(10市12町15村)の人々が生活しており、この地域の産業・経済・社会・文化の基盤となっています。

そのため、本事業では既設の利水専用ダム(佐久間ダム;昭和31年(1956年)完成、電源開発(株))を有効活用し、新たに洪水調節機能を確保して、天竜川中下流部の洪水氾濫から人々の暮らしを守るとともに、ダム貯水池に流入する土砂をダム下流河川へ還元することで土砂移動の連続性を確保し、遠州灘沿岸の海岸侵食の抑制等を目指します。

2. 事業箇所

右岸:愛知県北設楽郡豊根村

左岸:静岡県浜松市天竜区佐久間町
(天竜川水系天竜川)

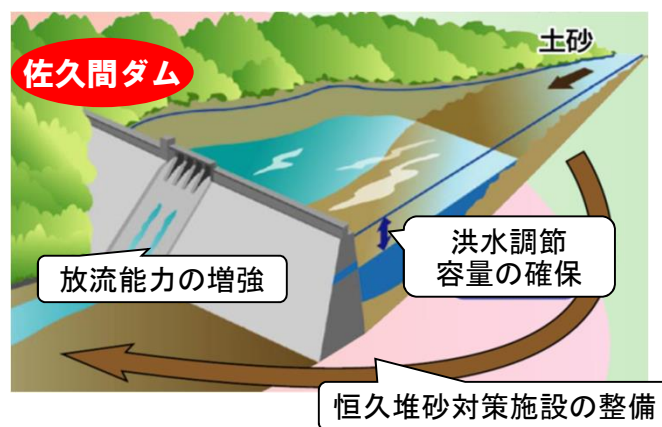


3. 令和7年度実施予定内容及び現在の実施状況

引き続き、治水関連施設設計、堆砂対策施設設計、管理設備用道路工事等を実施。



佐久間ダム(電源開発(株)S31完成)



天竜川ダム再編事業のイメージ



設計のための地質調査

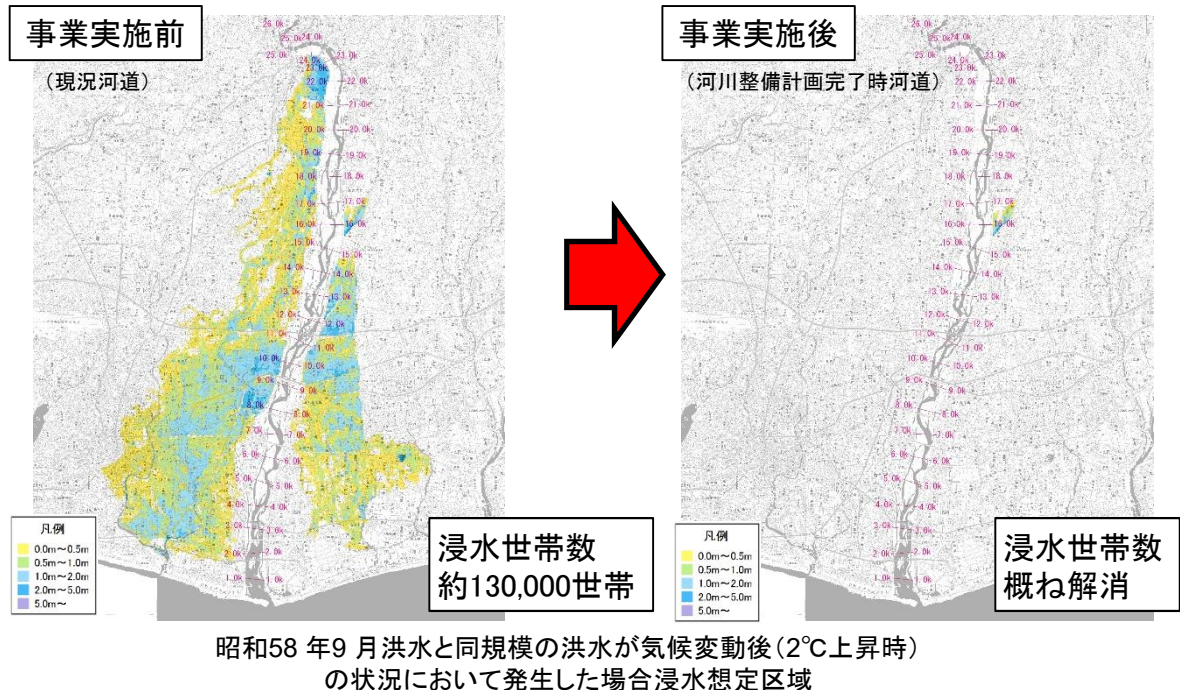


増設放流設備イメージ

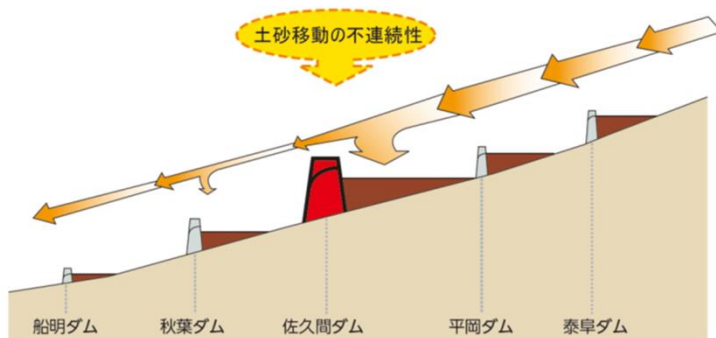
4. 整備効果

重点: ①国民の安全・安心の確保

戦後最大規模相当となる昭和58年9月洪水と同規模の洪水が気候変動後(2℃上昇時)の状況において発生した場合、本事業の洪水調節とあわせ、樹木伐開や河道掘削等の河道整備を行うことにより、同洪水を安全に流下させることが可能となります。



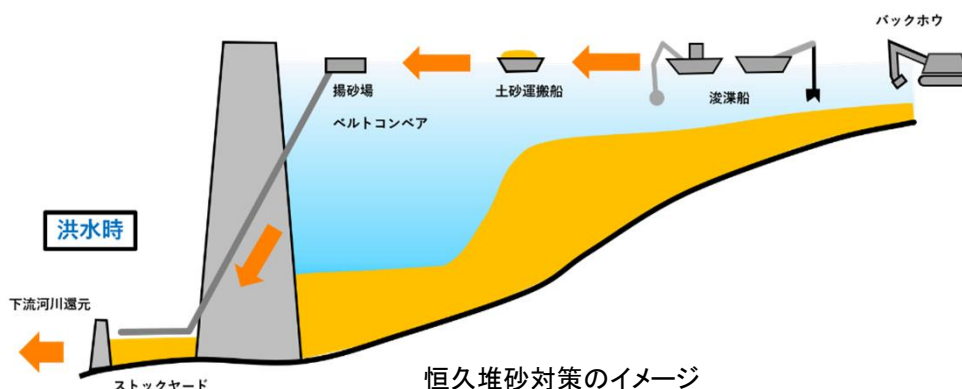
現在、天竜川中下流域では、既設ダムにより土砂移動の連続性が遮断されています。恒久堆砂対策の整備により、ダム地点における土砂移動の連続性を確保し、佐久間ダムからの流下土砂量を増加させることにより、遠州灘沿岸の海岸侵食の抑制等を目指します。



土砂移動の連続性が遮断されているイメージ



天竜川河口部では、長期的な海岸侵食が進行



恒久堆砂対策のイメージ

ゆい
由比地区直轄地すべり対策事業

令和7年度当初:23.1億円

1. 事業の必要性及び概要

由比地区には重要交通網である東名高速道路や国道1号、JR東海道本線が集中しており、豪雨や南海トラフ地震の発生等に伴う地すべりにより、長期間途絶することで人命救助や経済活動に甚大な影響を及ぼすことが懸念されます。このため、地すべり被害を防止するための対策工を実施しています。



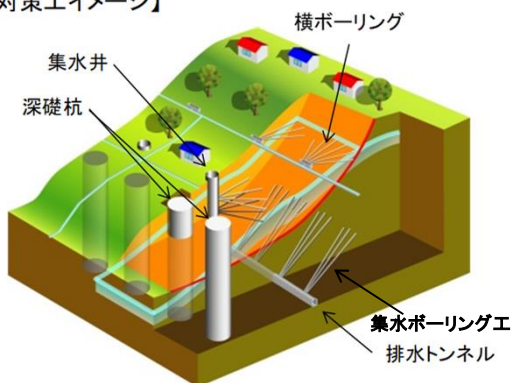
2. 事業箇所

しみずく ゆい にしくらさわ
静岡県静岡市清水区由比西倉沢

3. 令和7年度実施予定内容及び現在の実施状況

引き続き、^{しんそ}深礎杭工、集水ボーリング工を実施。

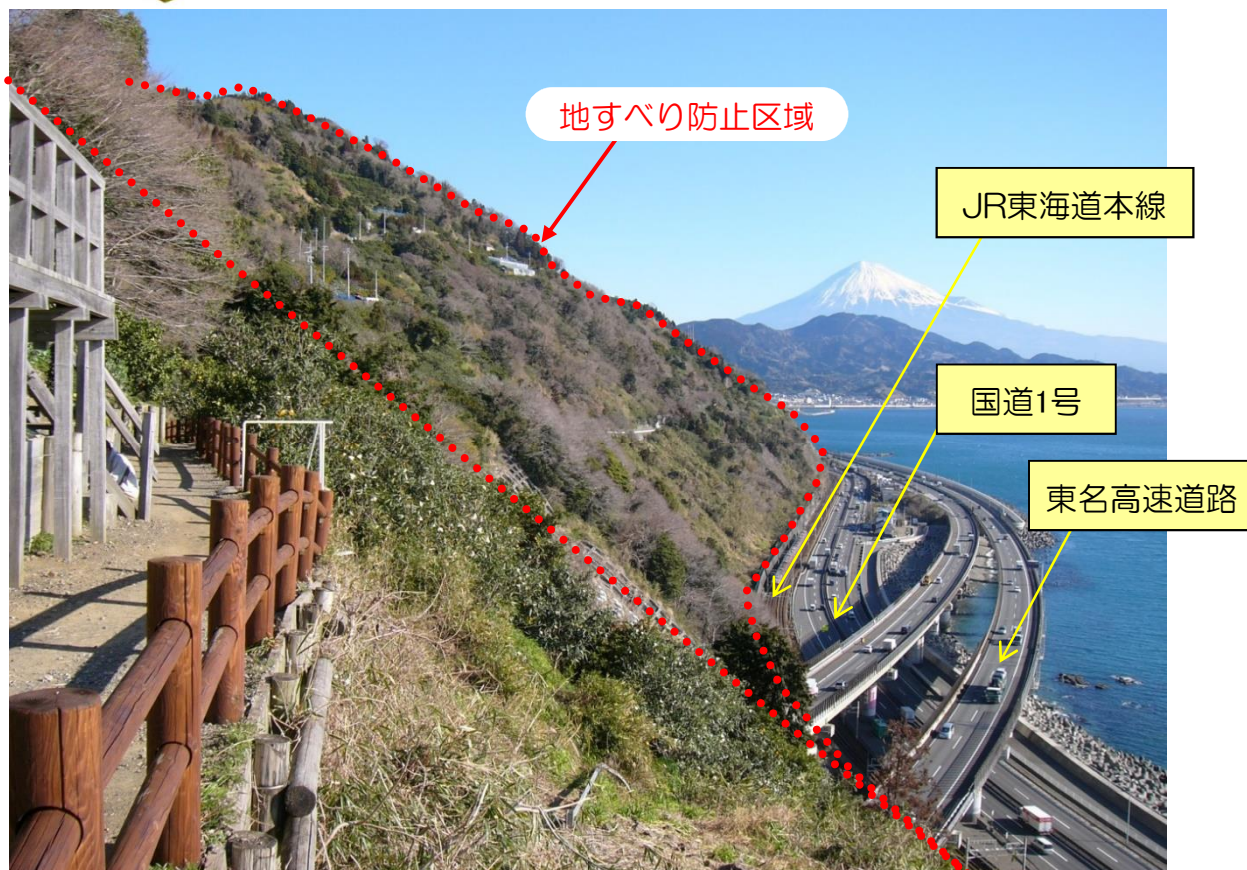
【対策工イメージ】



深礎杭工



集水ボーリング工



※地すべり防止区域：地すべり等防止法(昭和33年3月31日法律第30号)第3条に基き、指定した区域

4. 整備効果

重点:①国民の安全・安心の確保

■ 由比地区において想定される被害

- ・直接想定被害としては、地すべり崩落土砂により重要交通網等の埋没が想定されます。
- ・国道1号・東名高速道路・JR東海道本線の重要交通網の長期間途絶により、地域はもとより、日本経済全体への影響が懸念されます。
- ・地すべり崩落により、多数の人命が失われる可能性があります。



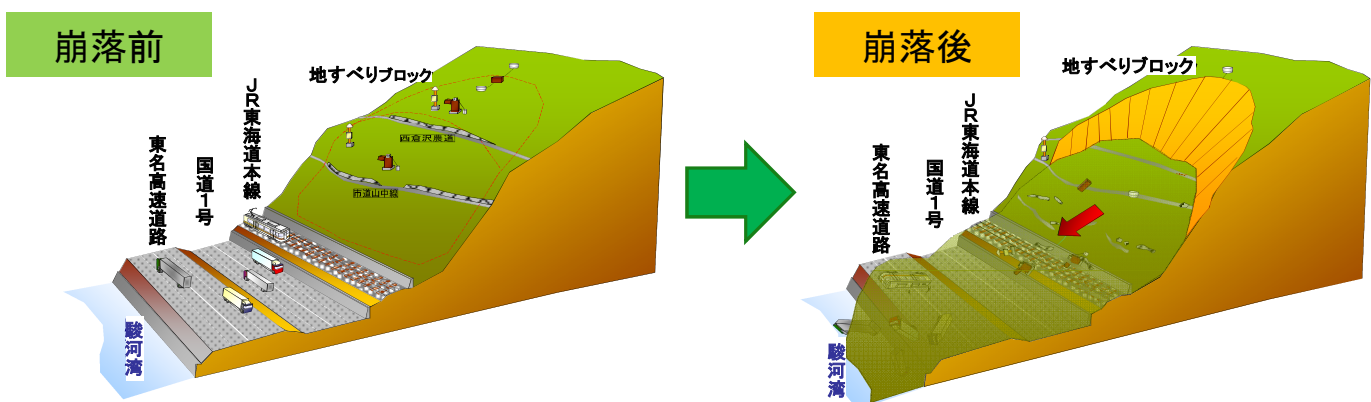
重要交通網(国道1号、JR東海道本線(旅客、貨物))

■ 重要交通網の交通量

国道1号 平均交通量 ^{※1}	約58,000台／日
東名高速道路 平均交通量 ^{※1}	約29,000台／日
JR東海道本線 旅客列車運行本数 ^{※2}	上下124本／日

※1 R3年JR時刻表より

※2 R3道路交通センサス結果より



■ 災害発生時の影響

地すべりが発生すると、東名高速道路、国道1号、JR東海道本線が途絶し、迂回ルートに車両が集中するため、交通渋滞が発生し移動時間が増大します。



■ 事業効果

日本経済全体への影響が懸念される重要交通網である国道1号・東名高速道路・JR東海道本線の交通が確保されます。

地すべりの発生を防止することにより、多数の人命が失われることを防止します。

ながしま
長島ダム堰堤改良事業

1. 事業の必要性及び概要

令和7年度当初:2.4億円

長島ダムは、洪水調節容量内の堆砂が進行しており、洪水調節機能に支障を及ぼす恐れがあるため、堆砂対策が喫緊の課題となっています。

そのため、長島ダムでは、ダム貯水池機能(洪水調節容量)を回復するための堆砂対策(堆砂除去)を計画的・集中的に実施する堰堤改良事業(ダムリフレッシュ事業)を推進します。

2. 事業箇所

静岡県 はいばら かわねほんちょう
静岡県 榛原郡 川根本町

3. 令和7年度実施予定内容及び現在の実施状況

堆砂土砂掘削、掘削用坂路整備等を実施。

<位置図>



長島ダム貯水池
対策箇所図



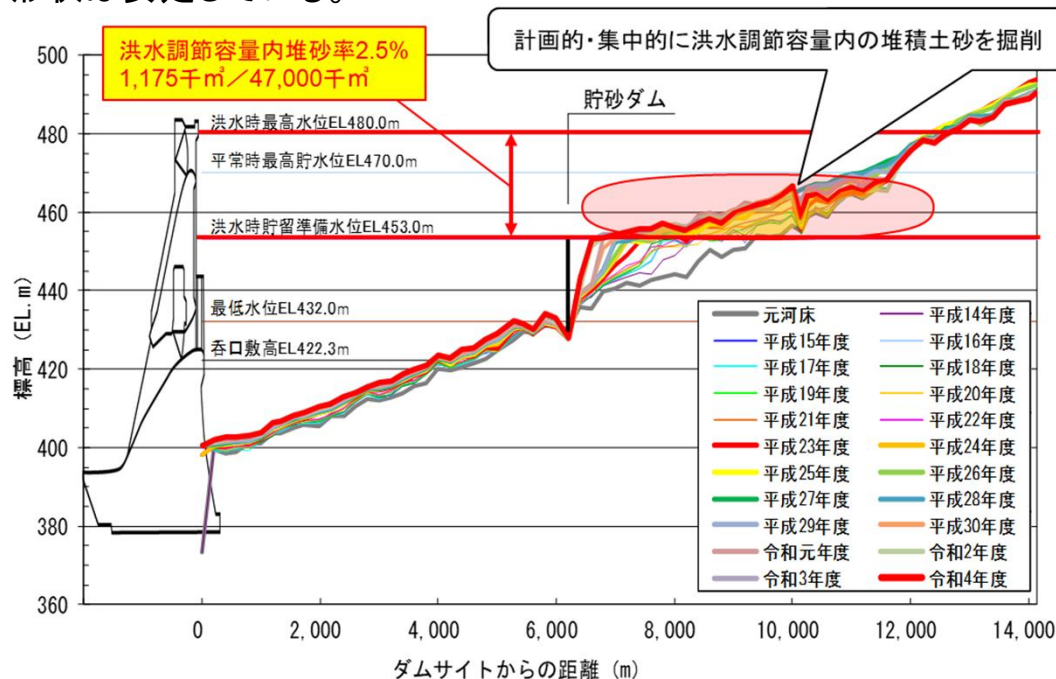
4. 整備効果

重点:①国民の安全・安心の確保

- 他事業との更なる連携(掘削土砂の海岸養浜材への活用等)により、計画的・集中的に堆砂対策を実施し、ダム貯水池機能(洪水調節容量)の回復を図る。

<堆砂状況>

- 長島ダムは、洪水調節容量内の堆砂が令和4年度時点で1,175千 m^3 (洪水調整容量内堆砂率2.5%)と進行しており、洪水調節機能に支障を及ぼす恐れがあるため、堆砂対策が喫緊の課題となっている。
- 長島ダム貯水池への流入土砂の多くは貯砂ダム上流に堆積しており、貯砂ダム下流の堆砂形状は安定している。



<流域内の事業間連携を通じた総合的な土砂管理の推進>

- 長島ダム貯水池の掘削土砂の有効活用として、他事業との更なる連携(海岸養浜材への活用等)により、計画的・集中的に堆砂対策を実施する。



駿河海岸 直轄海岸保全施設整備事業

令和7年度当初:13.6億円

1. 事業の必要性及び概要

駿河海岸は、我が国最深の駿河湾に面し、海底勾配が急峻で波の力が減衰することなく押し寄せることから、高潮・高波による甚大な被害を受けてきました。また、切迫する南海トラフ巨大地震による最大クラスの津波の第1波が地震発生後に最短2～4分で到達するため、避難に可能な時間が極めて短い地域です。このため、高潮・高波による施設の損傷や背後地の浸水・越波を防止するため、養浜工・有脚式離岸堤を実施するとともに、L1津波を超える津波が発生した場合でも、減災効果を発現させるため、粘り強い構造の海岸堤防の整備を実施し、早期に地域の安全性向上を図ります。

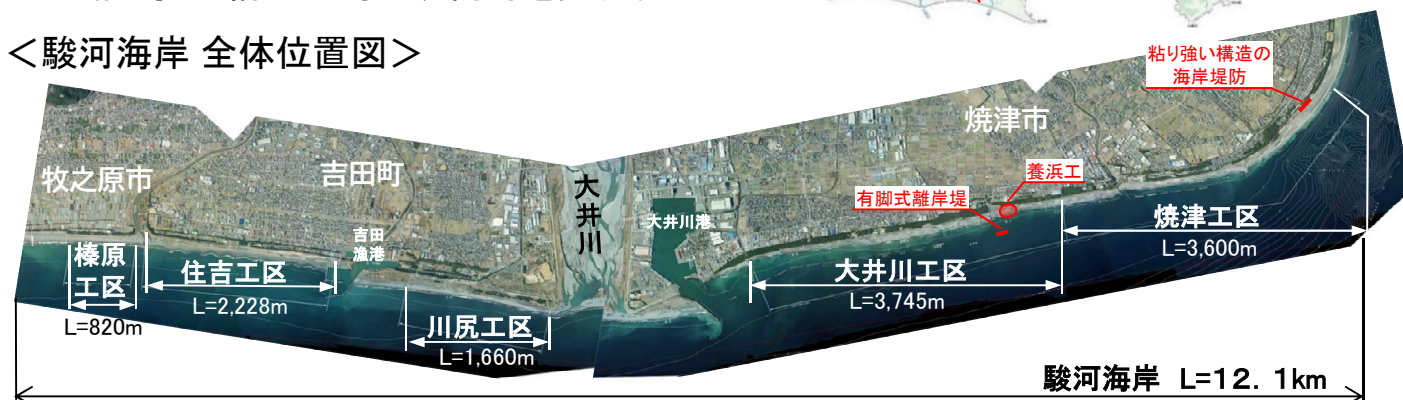
2. 事業箇所 静岡県焼津市

3. 令和7年度実施予定内容及び現在の実施状況

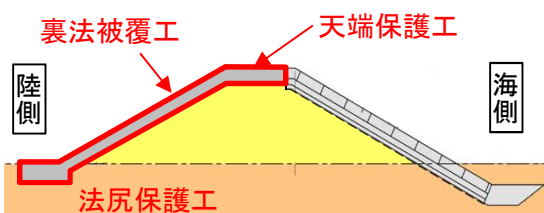
養浜工、有脚式離岸堤、粘り強い構造の海岸堤防等を実施。



<駿河海岸 全体位置図>



<実施予定内容>



粘り強い構造の海岸堤防 構造イメージ図

南海トラフの巨大地震等に伴うL1津波を超える津波に対しても、減災機能を発揮させるため、粘り強い構造の海岸堤防の整備

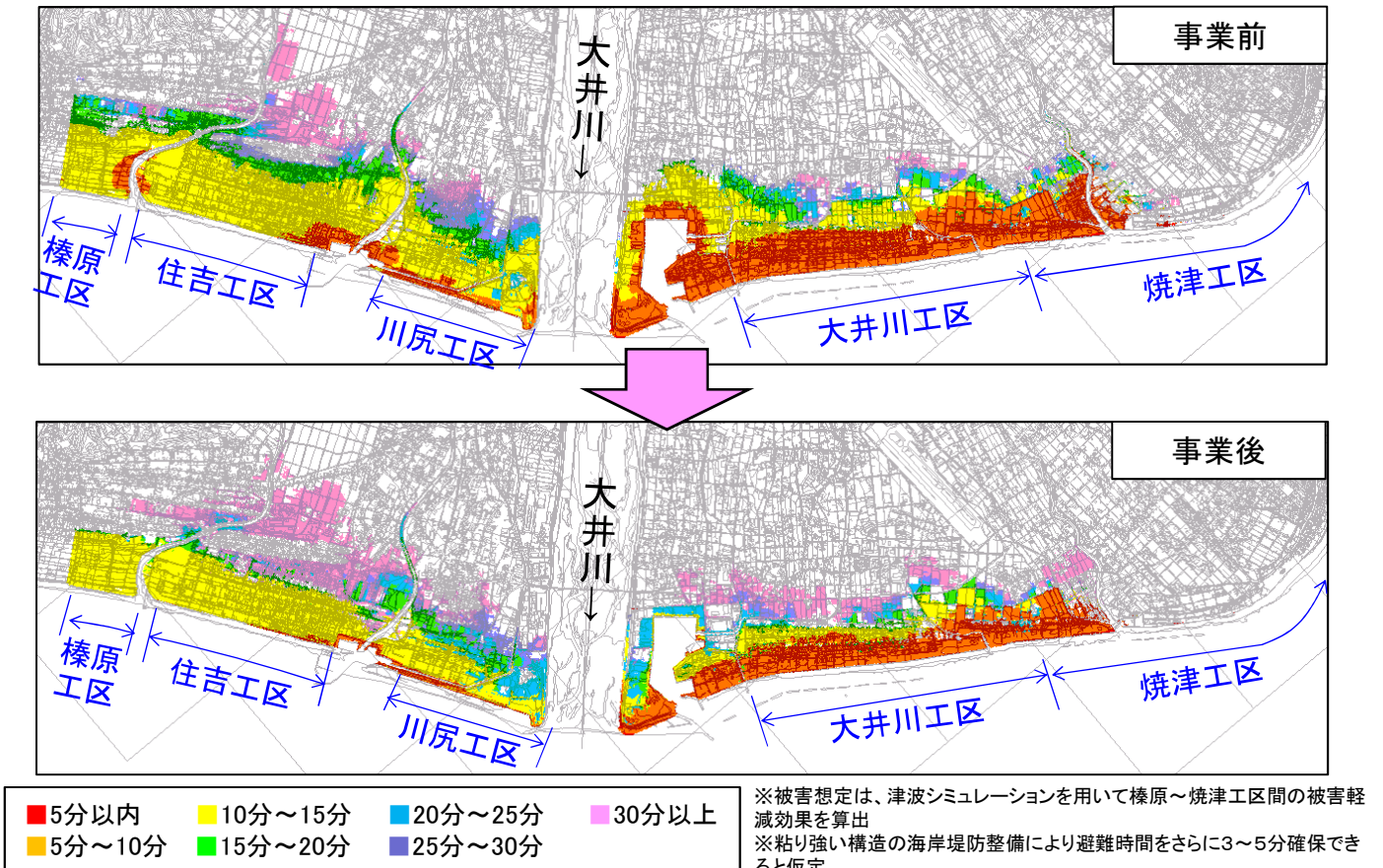
4. 整備効果

重点:①国民の安全・安心の確保

駿河海岸における南海トラフ巨大地震の津波による想定被害者数(想定死者数)※は約5,000人と想定されますが、粘り強い構造の海岸堤防を整備することにより、想定被害者数を約2,000人まで低減することができます。

※想定死者数は、津波浸水域における滞留者のうち津波が到達する時間(浸水深30cm以上となる)までに浸水域外、高層階避難、津波避難施設等への避難が完了できなかったものを津波に巻き込まれたものとして、死亡か負傷かを判定

■津波到達時間分布図(浸水深30cm)



【有脚式離岸堤】



目標浜幅を確保し、高潮や高波による浸水・越波を防止することを目的に、有脚式離岸堤の整備とともに養浜を実施

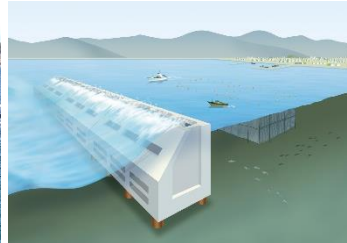
【ダムとの事業間連携による養浜】



ダム管理事業による運搬

土砂中継地

海岸事業による運搬



国道1号 国道414号 伊豆縦貫自動車道
 国道1号 静清バイパス
 国道1号 藤枝バイパス

令和7年度当初【伊豆縦貫自動車道】： 51.5億円
 【静清バイパス】： 51.6億円
 【藤枝バイパス】： 28.8億円

1. 事業の必要性及び概要

- 伊豆縦貫自動車道は、伊豆半島部を高速ネットワークで結ぶことにより、観光の活性化などを目的に計画された延長約60kmの高規格道路です。
- 静清バイパスは、高規格道路「静岡東西道路」の一部を構成し、静岡市の環状道路の一部として、交通渋滞の緩和、交通安全の確保、静岡都市圏の発展の支援を目的に計画された道路です。
- 藤枝バイパスは、国道1号の交通渋滞の改善により企業活動の支援及び市街地部の交通安全の確保を目的に暫定2車線から完成4車線化を図る拡幅事業です。

2. 事業箇所

- 伊豆縦貫自動車道： 静岡県沼津市～静岡県下田市
- 静清バイパス： 静岡県静岡市清水区興津東町
～静岡市駿河区丸子二軒屋
- 藤枝バイパス： 静岡県藤枝市仮宿～島田市野田



3. 令和7年度事業予定内容及び現在の実施状況

■伊豆縦貫自動車道

【東駿河湾環状道路(延長15.0km)】 【天城峠道路(月ヶ瀬～茅野)(延長5.7km)】

- 調査設計を推進。

【河津下田道路(Ⅱ期)(延長6.8km)】 【河津下田道路(Ⅰ期)(延長5.7km)】

- 河津逆川IC～下田IC(仮称)(延長12.5km)の改良工事、トンネル工事等を推進。

■静清バイパス

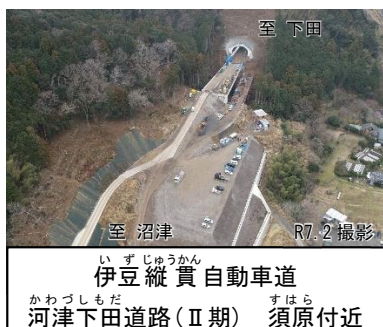
- 清水立体区間(延長2.4km)の改良工事、橋梁工事、舗装工事等を推進。

■藤枝バイパス

- 広幡IC～藪田東IC(延長1.5km)の改良工事、橋梁工事、舗装工事等を推進。

《 令和8年度開通予定 》

- 藪田東IC～野田IC(延長9.2km)の改良工事、橋梁工事、トンネル工事等を推進。



4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

(伊豆縦貫自動車道)

災害に強い道路ネットワークを構築し、災害時にも機能する道路を整備！

- 伊豆半島は、南海トラフ巨大地震等の津波による浸水等、災害リスクの高い地域であるとともに、**災害時に連絡できる道路が脆弱で、台風、大雨等で通行止めが発生。**
- 災害時には、**東名・新東名高速道路**からのルートに加え、防災拠点港湾である**下田港からの海上ルート**が緊急輸送ルートとなる。
- **伊豆縦貫自動車道の整備により、「災害に強い道路ネットワーク」が構築され、災害時の救命救急・復旧活動等の支援に寄与**することが期待。

■南海トラフ巨大地震発生時の被害想定



凡例

- 事業中区分
- 開通済区分
- 開通済(有料区分)区分
- 調査中区分
- 推定最大津波高さ
- 津波浸水箇所(国道と推定津波浸水の交差点)
- 推定津波浸水域

【道路施設影響度ランク】

影響度ランク	被害規模	緊急輸送が可能なレベルの復旧に要する日数目安
AA	大	1週間以上
A	中	3日～1週間
B	小	当日～3日
C	なし	—

出典：静岡県第4次地震被害想定(第二次報告)(平成25年11月)

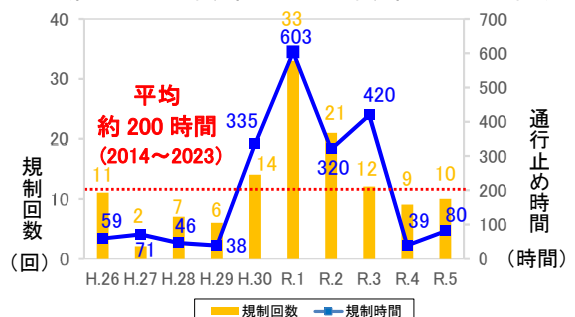
出典：内閣府南海トラフ巨大地震の被害想定(第二次報告)(平成25年3月)より作成

■台風、大雨等による伊豆南部の被災状況



■伊豆地域の通行止め実績

(国道135号、国道136号、国道414号※)



出典：静岡県通行規制実績(沼津土木事務所、熱海土木事務所、下田土木事務所)
※国道414号は旧道除く

しみず しんおきつ
清水港新興津地区国際物流ターミナル整備事業

令和 7 年度当初：20.9 億円

1. 事業の必要性及び概要

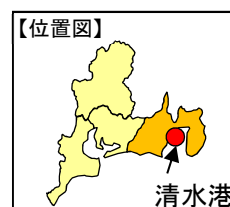
多くの製紙工場が背後に立地する清水港は、原材料であるパルプの輸入拠点となっており、パルプの輸入量が増加しています。また、背後圏のコンテナ貨物の取扱拠点となっており、特に東南アジア貨物が増加し、船舶が大型化しています。

一方、大型船が利用できる岸壁が限られており、非効率な輸送を強いられていることから、これらに対応した港湾機能の強化が必要となっています。

このため、新興津地区において国際物流ターミナルの整備を行います。

2. 事業箇所

しずおか
静岡県静岡市



3. 令和 7 年度事業予定内容及び現在の実施状況

引き続き、耐震強化岸壁等の整備を実施します。



4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

<被災時における社会・経済活動の維持>

耐震強化岸壁の整備により、被災時においても海上輸送が可能となり、背後企業の事業継続、物流機能が確保できます。

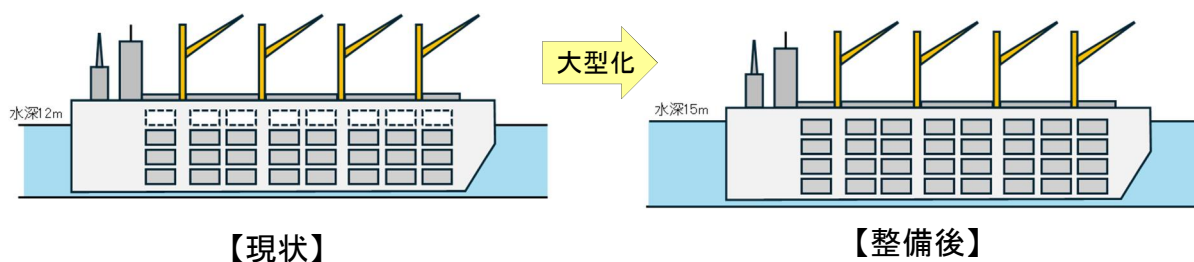
重点：③地方創生2.0に資する個性をいかした地域づくりと分散型国づくり

<海上輸送効率化への対応>

大型パルプ船による原産国から清水港への一括大量輸送、清水港を拠点とした全国へのトランシップ（積替）輸送による物流効率化が可能となり、静岡県^{しみず}の基幹産業である製紙産業を中心として地域経済の活性化が図られるとともに、積替輸送により物流コスト削減効果を全国に波及させることができます。また、コンテナ貨物の増加、コンテナ船の大型化にも対応可能となります。

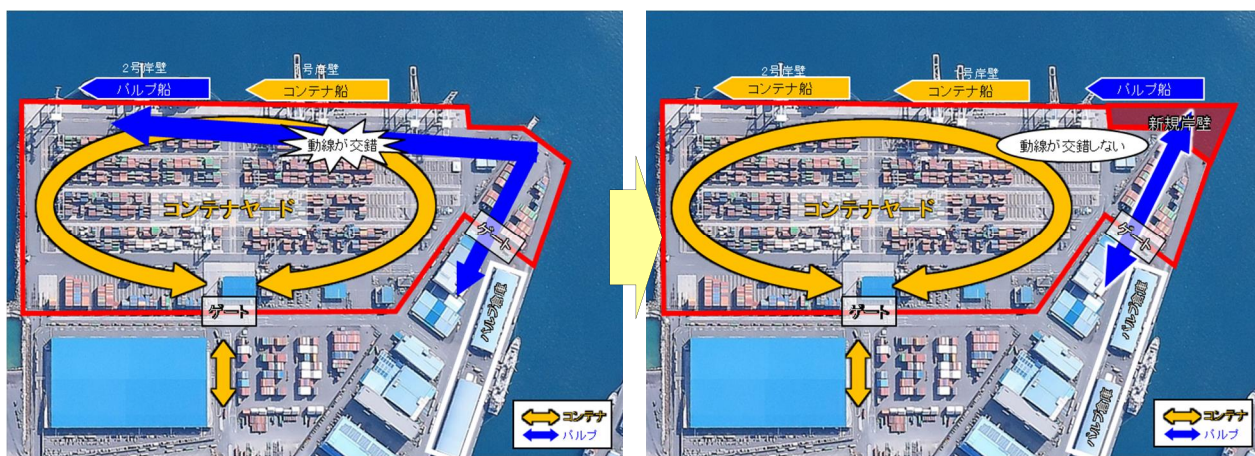
■日の出地区、興津地区（水深12m）

■新興津地区（水深15m）



<ターミナルの安全性の向上>

整備した岸壁にパルプ船が着岸することで、コンテナ荷役とパルプ荷役の動線の交錯が緩和され、安全かつ効率的な荷役が可能となります。



おまえざき めいわ
御前崎港女岩地区防波堤(改良)整備事業

令和7年度当初：2.3億円

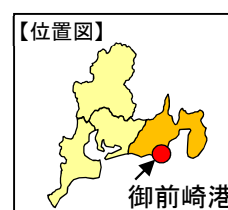
1. 事業の必要性及び概要

防波堤は、地震発生時の堤体沈下に伴う港内静穏度低下により岸壁荷役作業に支障をきたす恐れがあります。また、津波来襲時の防波堤倒壊により背後地域への浸水被害が拡大する恐れがあることから、災害対応力の向上が必要となっています。

このため、女岩地区防波堤（A）において防波堤の改良を行います。

2. 事業箇所

静岡県御前崎市



3. 令和7年度事業予定内容及び現在の実施状況

引き続き、防波堤の粘り強い構造への改良を実施します。



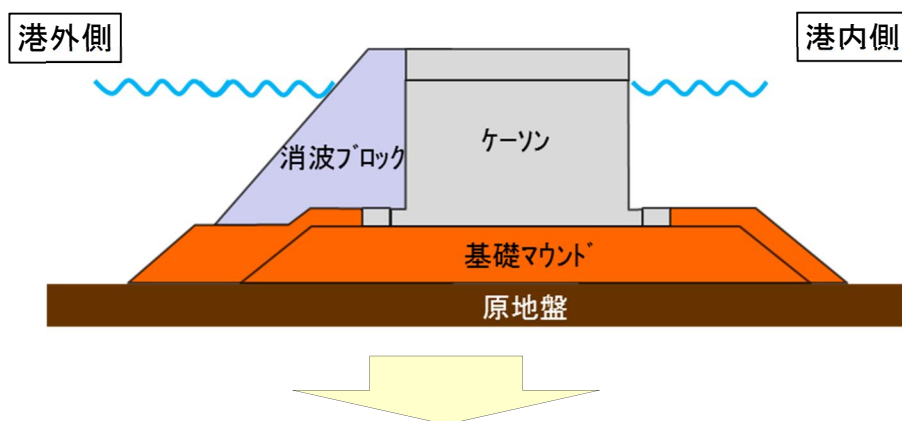
4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

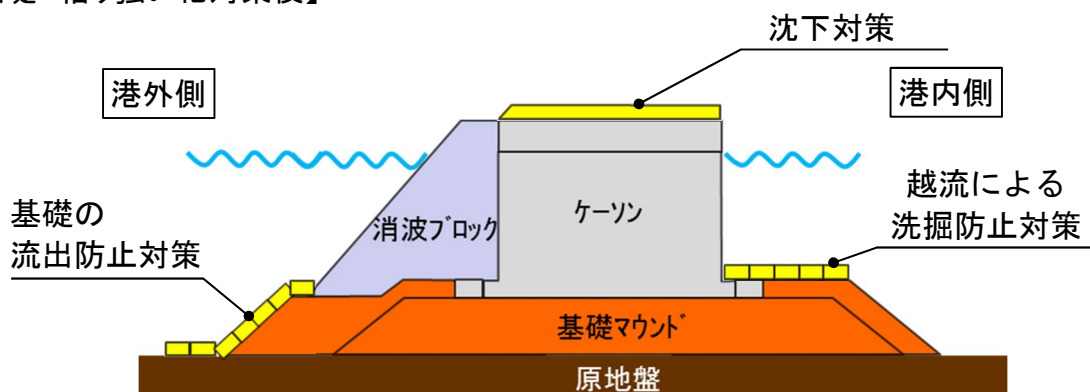
<防波堤の粘り強い化>

嵩上げによる沈下対策、港外側基礎の流出防止対策、越流による洗掘防止対策による粘り強い化により、津波来襲後においても港内静穏度を確保するとともに、津波来襲時における背後地域での浸水被害の低減を図ります。

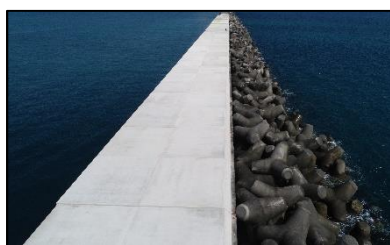
【防波堤 粘り強い化対策前】



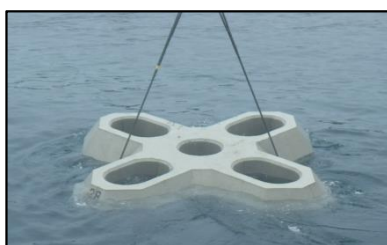
【防波堤 粘り強い化対策後】



【対策イメージ】



沈下対策
(上部工嵩上げ)



基礎の流出防止対策
(被覆ブロック据付)



越流による洗掘防止対策
(根固方塊据付)

しょうないがわ
庄内川河川改修事業

びわじま
庄内川枇杷島橋架替事業（特定構造物改築）

令和7年度当初:15.8億円
(岐阜県分:2.0億円、愛知県分13.8億円)

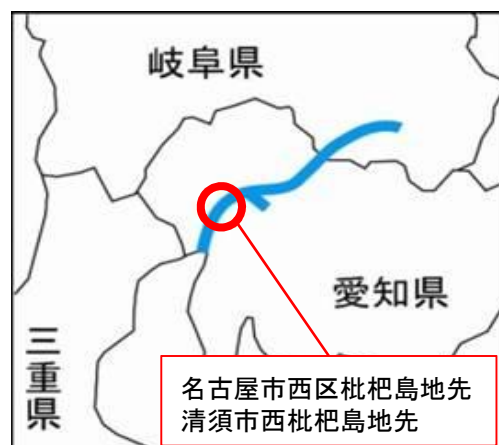
1. 事業の必要性及び概要

名古屋市枇杷島地区は、狭窄部であるとともに県道枇杷島橋を始め、桁下高が低く、橋脚の間隔が狭い橋梁が横架しており、洪水の流下に大きな支障をきたしていることから、氾濫した場合には、広範囲の浸水被害が予想されます。

このため、枇杷島地区3橋梁の架替や築堤等を実施し、治水安全度の向上を図ります。

2. 事業箇所

愛知県 なごやし きよすし 名古屋市、清須市



3. 令和7年度実施予定内容及び現在の実施状況

引き続き、県道枇杷島橋の架替を実施。

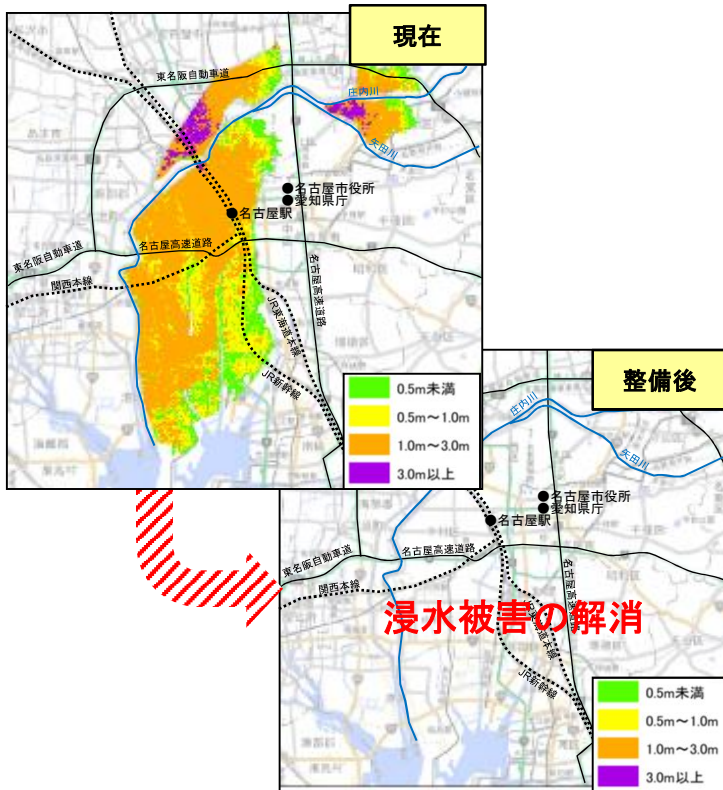


4. 整備効果等

重点:①国民の安全・安心の確保

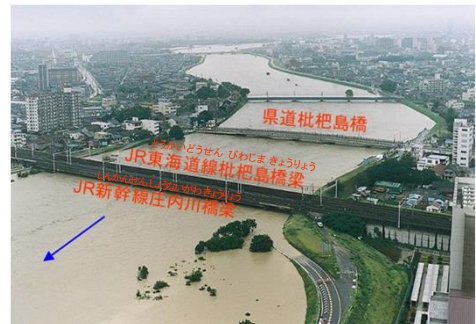
平成12年9月11日～12日に東海地方に甚大な被害を発生させた東海豪雨では、派川である新川の堤防が決壊したのをはじめ、名古屋市内でも広範囲に浸水被害が発生しました。県道枇杷島橋では、洪水が橋桁に衝突するなど、危険な状況でした。

本事業を含む整備計画を完了させることで、中下流域(愛知県区間)は、東海豪雨と同規模の洪水が発生した場合でも、洪水を安全に流下させることが可能となります。



河川整備計画目標流量による浸水想定

平成12年9月東海豪雨の状況



橋梁の橋げた付近まで水位が上昇(枇杷島地区)



名古屋市区あし原町地先で新川堤防が決壊



新川の堤防決壊による清須市の浸水状況

■庄内川枇杷島橋架替事業(特定構造物改築)の進捗状況

- 令和3年10月より、県道枇杷島橋の架替工事に着手し、令和5年11月に県道枇杷島橋(仮橋)への切り回しが完了しました。現在、旧橋(元々の県道枇杷島橋)の撤去工事を実施しています。
- また、県道枇杷島橋の架替工事の進捗に伴って取り付け道路の施工を行い、これまで最も低かった右岸堤防を令和6年6月に嵩上げしました。



したら
設楽ダム建設事業

令和7年度当初:154.5億円

1. 事業の必要性及び概要

とよがわ 豊川流域には約59万人が生活し、この地域の産業・経済・社会・文化の発展の基盤を築いてきました。一方、洪水時には、堤防決壊による氾濫等により人家や農作物等に多大な被害をもたらし、渇水時には、度々取水制限や水道用水の減圧給水が行われ、農作物の発育不良などの被害が生じています。

そのため、本事業ではしたら 設楽ダムを建設することにより、洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水、水道用水の供給を行います。

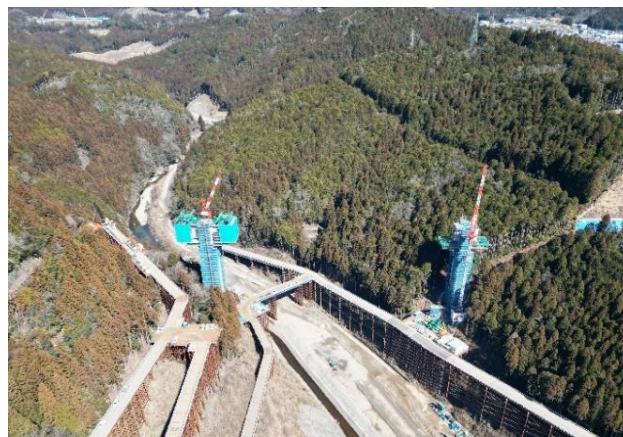
2. 事業箇所

きたしたらぐん したらちょう とよがわ とよがわ
愛知県北設楽郡設楽町(豊川水系豊川)

3. 令和7年度実施予定内容及び現在の実施状況
引き続き、本体工事、付替道路工事等を実施。



設楽ダム完成予想図



付替県道瀬戸設楽線(5号橋)



本体工事(基礎掘削)



付替国道257号線(4号橋)

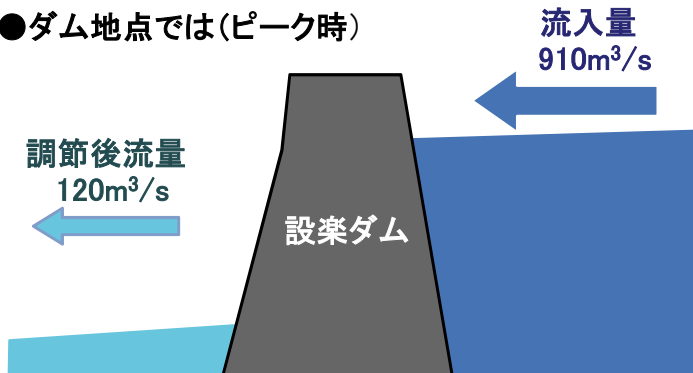
4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

設楽ダムを建設することにより、戦後最大の洪水量を記録した昭和44年8月洪水（年超過確率1/30規模）に対して、基準地点である石田の流量を約550m³/s減らすことにより、河川の水位を約0.6m下げることが可能となります。

設楽ダムと下流の河道改修の効果をあわせて、浸水被害を軽減します。

●ダム地点では(ピーク時)

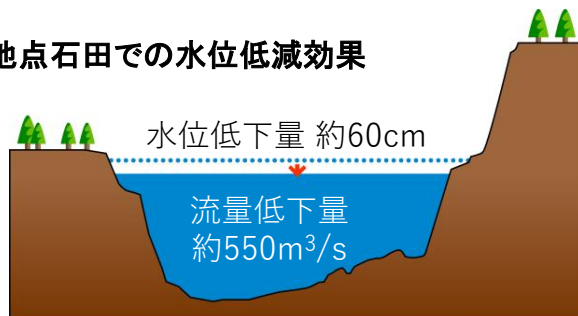


ダム地点で、最大約790m³/sの洪水調節



昭和44年8月(旧一宮町江島)

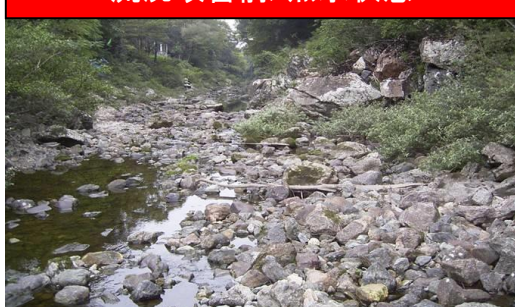
●基準地点石田での水位低減効果



下流の基準地点の石田では、約550m³/sの流量を低減（約60cm水位を下げる）

設楽ダムを建設することにより、10年に1回発生する規模の渇水において、河川流量を増加させ、河川環境を保全するとともに、既得用水の取水の安定化を図ります。

流況改善前/無水状態

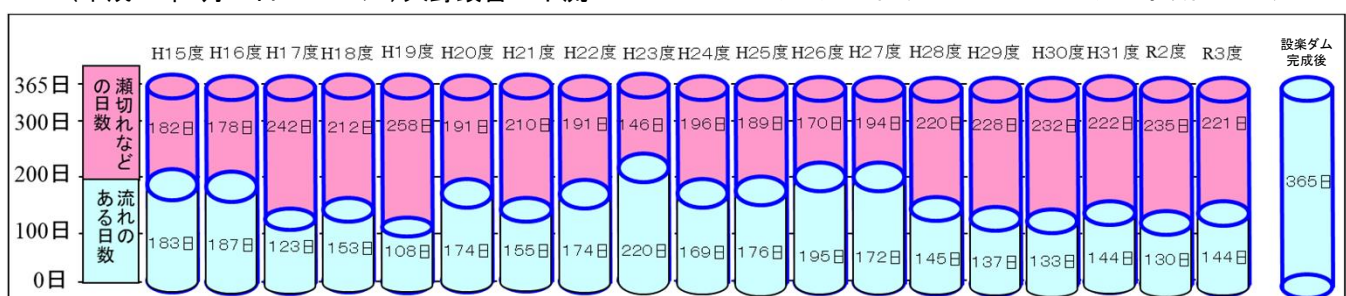


(平成16年4月26日 0.0m³/s)大野頭首工下流

流況改善後/流れのある状況



(平成16年4月29日 1.3m³/s)大野頭首工下流



出典: 水資源機構

国道474号 さんえんなんしん 三遠南信自動車道
 国道155号 とよたみなみ 豊田南バイパス
 国道22号 めいぎ 名岐道路

令和7年度当初【三遠南信自動車道】：132.5億円
 〔愛知県分〕：50.3億円
 【豊田南バイパス】：32.2億円
 【名岐道路】：1.0億円

1. 事業の必要性及び概要

- さんえんなんしん 三遠南信自動車道は、ちゅうおうどう 中央道、しんとうめい 新東名と連絡し広域ネットワークを構築し、災害に強い道路機能の確保、救急医療活動の支援、地域活性化の支援を目的に計画された延長約100kmの高規格道路です。
- とよたみなみ 豊田南バイパスは、豊田市の中心市街地を迂回し、交通の円滑化、物流の効率化、地域経済の発展・促進、地域内外の交流・連携等を目的に計画された延長12.9kmの道路です。
- めいぎ 名岐道路は、名古屋と岐阜地域を最短で結ぶ自専道ネットワークを構築し、高速道路のボトルネック箇所や国道22号等の渋滞緩和、地域産業の活性化、交通安全の確保等を目的に計画された道路です

2. 事業箇所

- さんえんなんしん 三遠南信自動車道：いいた 長野県飯田市～はまつ 静岡県浜松市
- とよたみなみ 豊田南バイパス：とよた 愛知県豊田市駒場町～あいつまちょう 豊田市逢妻町
- めいぎ 名岐道路：いちのみや 愛知県一宮市丹陽町～おおけ 一宮市大毛



3. 令和7年度事業予定内容及び現在の実施状況

- さんえんなんしん 三遠南信自動車道【さくま 佐久間道路・さんえん 三遠道路(延長27.9kmのうち愛知県14.5km)】
 - とうえい 東栄IC～ほうらいきょう 鳳来峡IC(延長7.1km)の改良工事、橋梁工事、舗装工事等を推進。
《令和7年度開通予定》
- 豊田南バイパス
 - とよた 豊田市東新町～あいつまちょう 逢妻町(延長3.7km)の改良工事、舗装工事等を推進。
《令和8年度開通予定》
- めいぎ 名岐道路【いちのみや 一宮～いちのみやきそがわ 一宮木曽川(延長6.9km)】《令和7年度新規事業化》
 - 調査設計を推進。



4. 整備効果

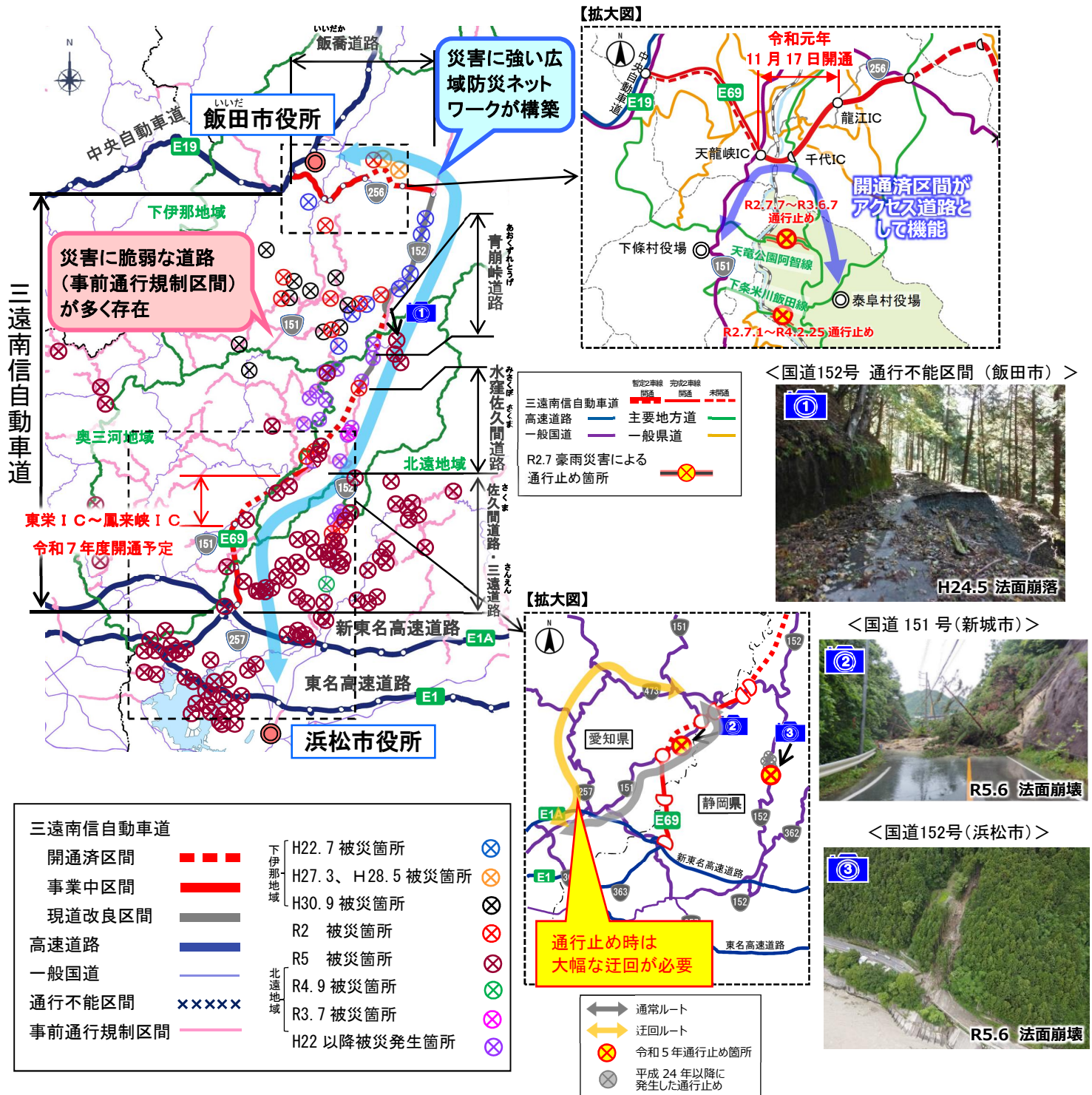
重点：①国民の安全・安心の確保

(三遠南信自動車道)

災害に強い広域防災ネットワークを構築し、災害時も連絡可能な道路を整備！

- 三遠南信地域は、**事前通行規制区間が多く、通行止めを伴う災害が頻発し、被災時には広域な迂回が必要。**
- 令和5年6月豪雨では、新城市等の国道等で通行止めが発生し、大幅な迂回が必要となった。
- 三遠南信自動車道の整備により、**「災害に強い国土幹線道路ネットワーク」が構築される。**

■北遠・奥三河地域と下伊那地域の災害等による通行止め状況



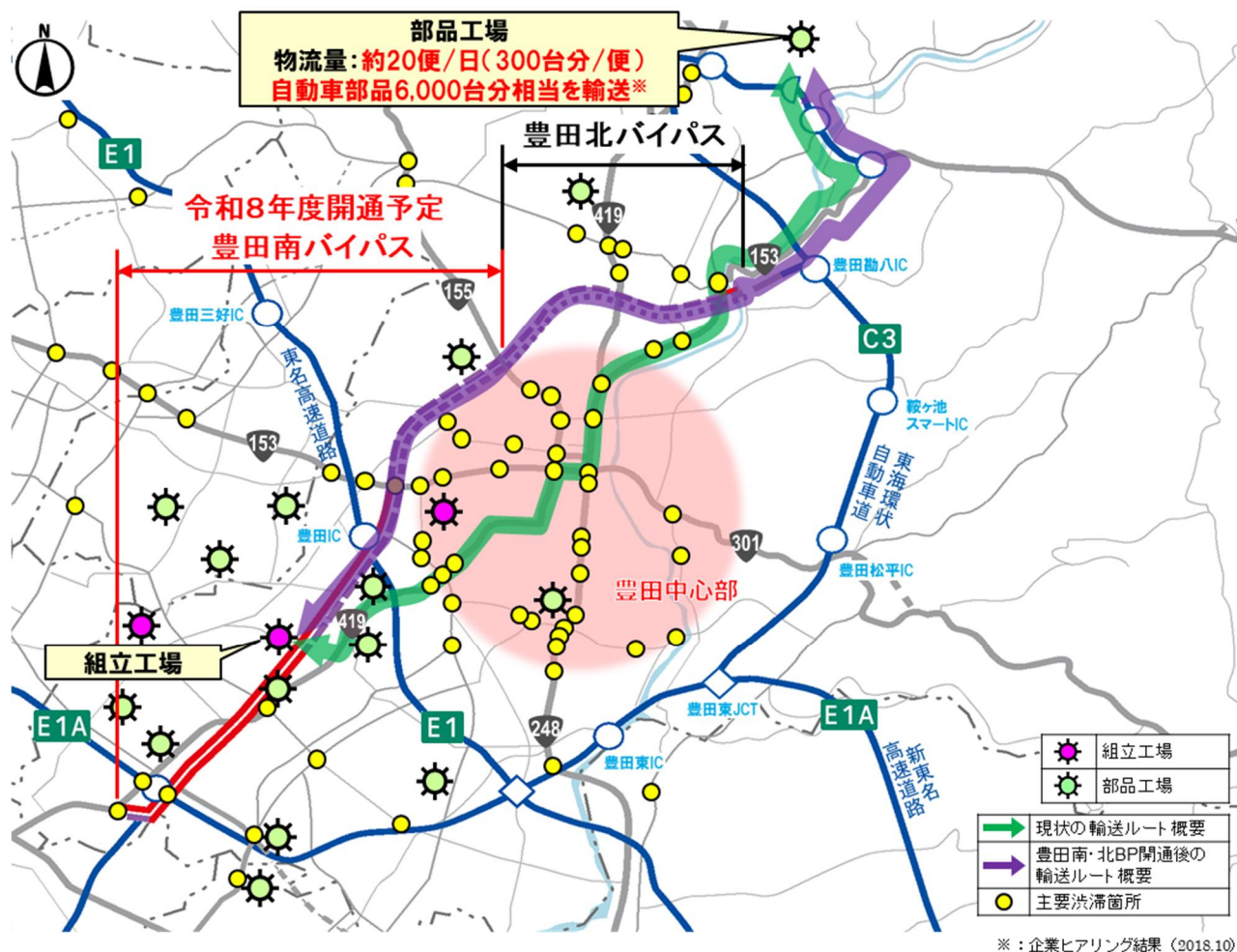
4. 整備効果

重点：②持続的な経済成長の実現

(豊田南バイパス)自動車産業の生産性向上！

- 豊田市に立地する自動車メーカーは、**完成車約 6000 台分/日の部品を郊外工場から市内の組立工場に納めており**、豊田中心部の渋滞により輸送時間のロスを考慮した輸送計画（1便あたり往復 110 分）を設定していたが、**開通により約 60 分短縮**。
- バイパス整備により、**自動車物流が効率化**され、**自動車産業の生産性の更なる向上**が期待。

■自動車部品関連の工場の立地状況と主な輸送ルート



■豊田北・南バイパスの整備による物流効率化（部品工場⇄組立工場）



部品工場と組立工場をつなぐ物流が円滑化

所要時間の算定方法

区間：部品工場～組立工場

整備前：令和3年度全国道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度にて算出
整備後：豊田南・北バイパスは法定速度（60km/h）を用いて算出

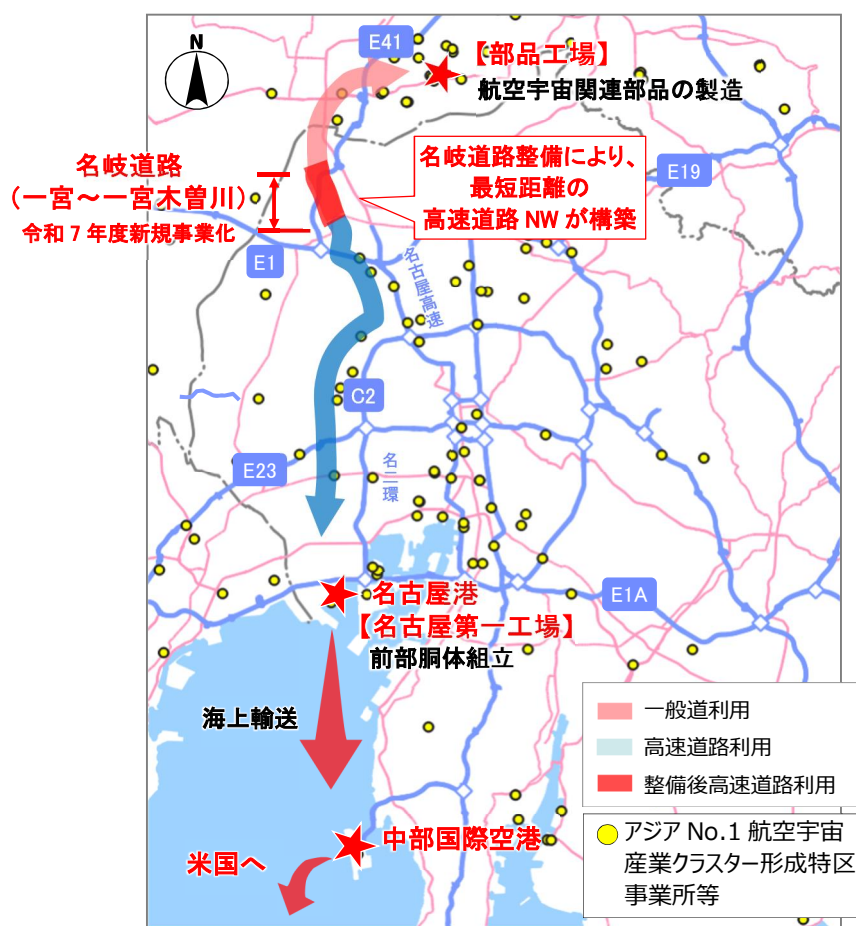
4. 整備効果

重点：②持続的な経済成長の実現

(名岐道路) 自専道ネットワーク構築により地域産業の発展に寄与！

- 中部地域は、国際戦略総合特区「アジア No.1 航空宇宙産業クラスター形成特区」に指定されており、日本の航空宇宙産業の拠点である。
- 名岐道路の整備によって名古屋と岐阜地域を最短で結ぶ自専道ネットワークが構築され、速達性や時間信頼性が向上し、航空宇宙産業等の地域経済の発展に寄与
- また、現道国道22号は、朝夕ピーク時に慢性的に速度低下が発生しているが、名岐道路の整備によって渋滞が緩和し、地域交通の円滑化に寄与

■中部地域の航空宇宙産業と航空機部品の製造の流れ



—所要時間—
岐阜地域～名古屋港周辺
【現況】約79分

約14分
短縮

【整備後】約65分

※航空機メーカー 部品工場（岐阜）～組立工場（名古屋）間の最大所要時間を比較
出典：【現況】ETC2.0 ブロープ情報
(R6 年 10 月 平日 平均、国道 21 号・国道 22 号・名古屋高速道路・名古屋第二環状自動車道を通行)
【整備後】ETC2.0 ブロープ情報
(R6 年 10 月 平日 平均、名岐道路は 80km/h として算出、国道 21 号・国道 22 号・名岐道路・名古屋高速道路・名古屋第二環状自動車道を通行)

大型航空機の月生産数
12 機/月→14 機/月に
増産予定※1

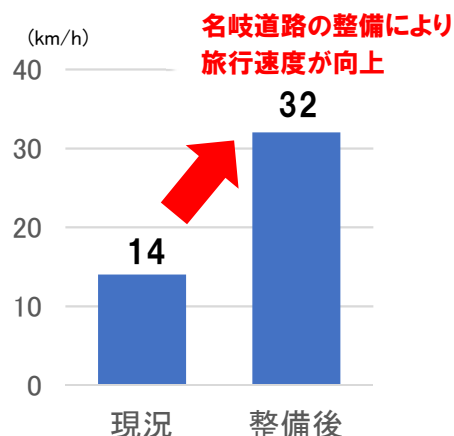


※2：専用貨物機
大型航空機の部品を運ぶための飛行機で世界に4機のみ存在（うち1機が中部国際空港から離発着）
大型航空機の35%は日本で生産されており、最終組み立て工場があるアメリカのエバレットまで運ぶ

■国道22号の渋滞状況(朝ピーク時)



■国道22号の旅行速度



出典：ETC2.0 ブロープ情報 (R6 年 10 月 平日 平均 7 時 台 上り)
【現況】一宮中～一宮木曾川 IC
【整備後】一宮 IC～一宮中 (整備済み区間) と同等になると想定

なごや
名古屋港ふ頭再編整備事業

令和7年度当初：114.9億円

1. 事業の必要性及び概要

近年、自動車部品や産業機械などのコンテナ貨物の増加やコンテナ船の大型化の進展に加え、飛島東側ターミナルの水深12m岸壁は供用後50年以上が経過し老朽化が進行しています。また、自動車運搬船の大型化の進展に加え、完成自動車取扱施設の分散による非効率な荷役が生じていることから、これらに対応した港湾機能の強化が必要となっています。

このため、飛島ふ頭地区においてコンテナ貨物の取扱拠点の整備を、金城ふ頭地区において完成自動車の輸出拠点の整備を行います。

2. 事業箇所

愛知県名古屋市、飛島村



3. 令和7年度事業予定内容及び現在の実施状況

引き続き、飛島ふ頭地区において岸壁の増深改良及び耐震強化岸壁等の整備を、金城ふ頭地区においてふ頭用地と連携した整備を実施します。



4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

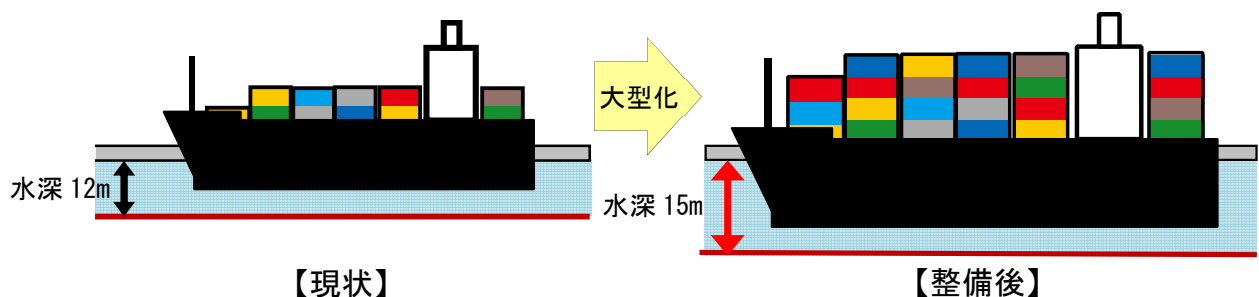
<被災時における社会・経済活動の維持>

耐震強化岸壁の整備により、被災時においても海上輸送が可能となり、背後企業の事業継続、物流機能が確保できます。

重点：③地方創生 2.0 に資する個性をいかした地域づくりと分散型国づくり

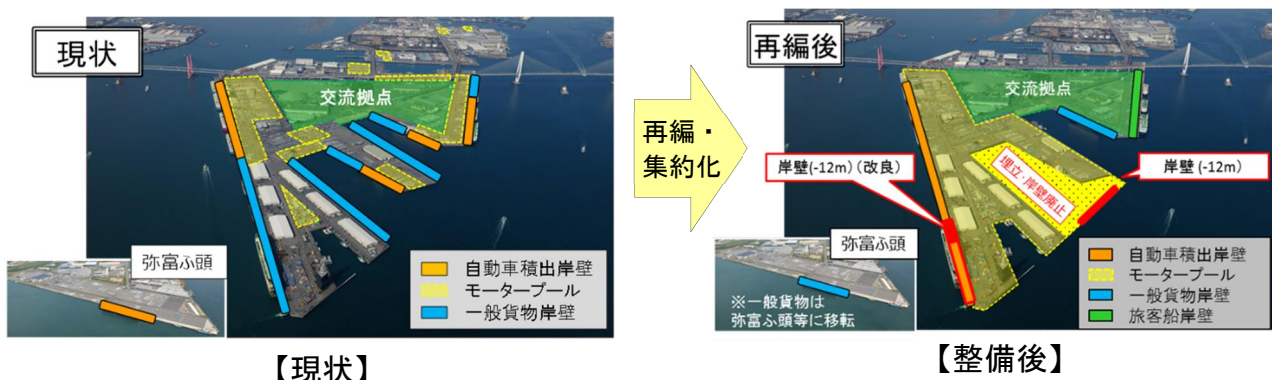
<コンテナ船の大型化への対応>

コンテナ船の大型化が進んでおり、岸壁の水深不足による非効率な輸送が発生していることから水深 15m へ増深することにより、一度に輸送できる貨物量が増加することで輸送コストの低減を図り、物流効率化を推進します。



<モータープールの集約>

自動車運搬船の大型化が進んでおり、岸壁の水深不足による非効率な輸送やモータープール等の不足・分散による横持ちが発生していることから、ふ頭の再編・集約化により、物流効率化を推進します。



きぬうら たけとよきた

衣浦港武豊北ふ頭地区国際物流ターミナル整備事業

令和7年度当初：2.1億円

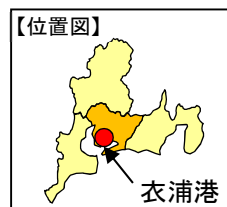
1. 事業の必要性及び概要

衣浦港の背後圏は、石炭や重油等の燃料や、木材チップや珪砂、とうもろこし等、各種製品の原料輸入が盛んであり、臨海部に立地している自動車部品、鉄鋼、食品等の製造業の生産活動を支えています。近年取扱貨物量が増加しており、船舶大型化への対応が必要となっています。

このため、武豊北ふ頭地区において国際物流ターミナル整備を行います。

2. 事業箇所

愛知県武豊町



3. 令和7年度事業予定内容及び現在の実施状況

引き続き、航路の整備を実施します。



4. 整備効果

重点：③地方創生 2.0 に資する個性をいかした地域づくりと分散型国づくり

<バルク貨物輸送距離短縮による効率化>

新たな岸壁の整備により、衣浦港における取扱貨物量の増加への対応が可能となるとともに、陸上輸送および海上輸送の輸送距離の短縮が図られ、効率的な輸送体系の形成が可能となります。



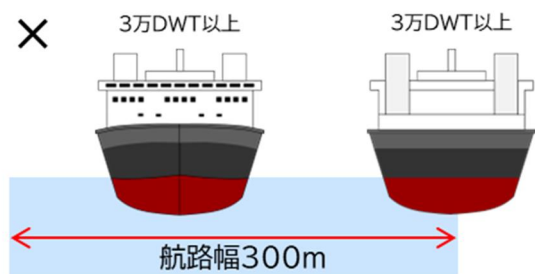
【現状】



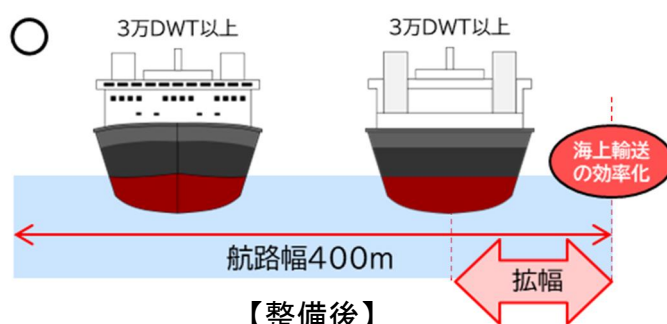
【整備後】

<航路の拡幅による海上輸送の効率化>

中央航路の現況幅員は大型船の行き会いに対応していないため、中央航路の拡幅を行うことで大型船の行き会いが可能となり、海上輸送の効率化が図られます。



【現状】



【整備後】

なごや

名古屋第4地方合同庁舎整備等事業（PFI手法による庁舎整備）

令和7年度当初：37億円

1. 事業の必要性及び概要

所要の耐震性能を満たしていない庁舎の耐震化や老朽化への対応を図るため、既存庁舎を集約し、大規模災害時に地域の防災拠点となる名古屋第4地方合同庁舎の整備を推進します。



2. 事業箇所

愛知県名古屋市

3. 令和7年度実施予定内容及び現在の実施状況

令和7年度の完成を目指し、令和7年度は新庁舎整備に係る建設業務を実施する予定です。（令和4年1月事業契約締結）



※画像は事業者の提案イメージであり、実際とは異なる場合があります。

■ 敷地

名古屋市中区三の丸2丁目6-2 敷地面積 6,582㎡

■ 規模

延べ面積 25,703㎡

■ 事業方式

PFI手法（BTO（Build-Transfer-Operate）方式）

■ 完成予定

令和8年3月

4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

<防災拠点となる官庁施設の防災機能強化等>

名古屋市三の丸地区に所在する中部経済産業総合庁舎及び名古屋農林総合庁舎は、いずれも老朽化による不具合が生じており、また、災害応急対策活動の拠点施設として十分な耐震性能を有していません。

本事業では、旧名古屋郵便貯金センター跡地に名古屋第4地方合同庁舎を整備することで、東海農政局、中部経済産業局、中部地方整備局（港湾空港関係）等、災害対策の指揮及び情報伝達等、災害応急対策活動を行う官署を集約し、上記の問題を解消するとともに、防災拠点機能をより強化し、大規模災害時の地域の防災拠点として災害に強い地域づくりに貢献します。

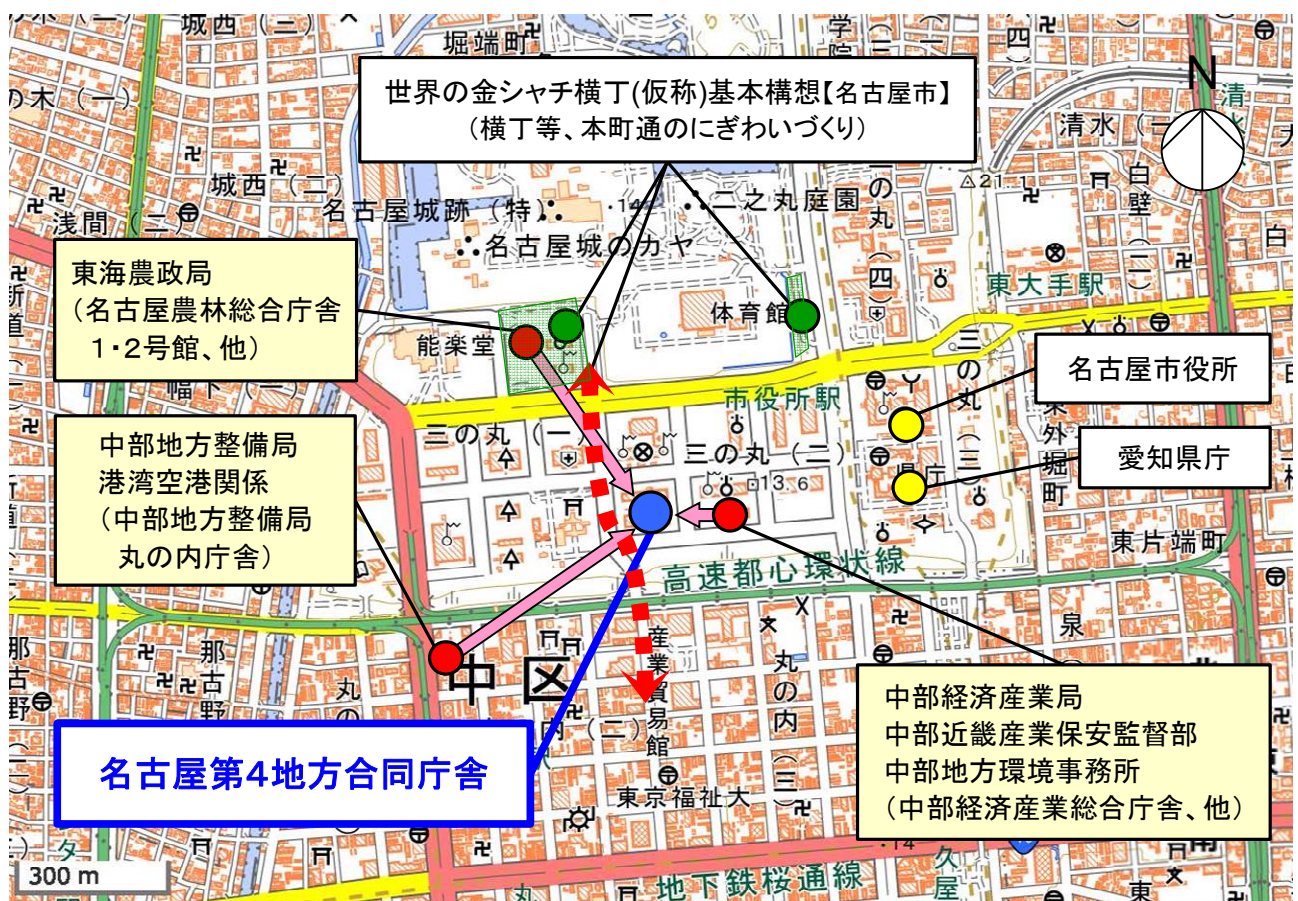
なお、新庁舎の整備によって、名古屋市が推進する「世界の金シャチ横丁（仮称）基本構想」エリア内にある東海農政局の早期移転を可能にし、まちづくりに寄与します。



現 名古屋農林総合庁舎



現 中部経済産業総合庁舎



くもずがわ
雲出川河川改修事業
すがぜ そのむら
雲出川須ヶ瀬・其村地区堤防整備事業 他

令和7年度当初:10.1億円

1. 事業の必要性及び概要

つ まつさか
津市・松阪市の市街地を流れる雲出川水系では、平成26年8月洪水等において、度々浸水被害が発生していることから、「流域治水」の本格的な実践に向けて、令和5年3月に中村川・波瀬川等を特定都市河川に指定しました。

令和6年6月には、「雲出川水系中村川・波瀬川・赤川流域水害対策計画」を策定し、早期に治水安全度を向上するため、流域のあらゆる関係者と目標や実施時期を共有しながら、河川整備を計画的・集中的に実施しています。

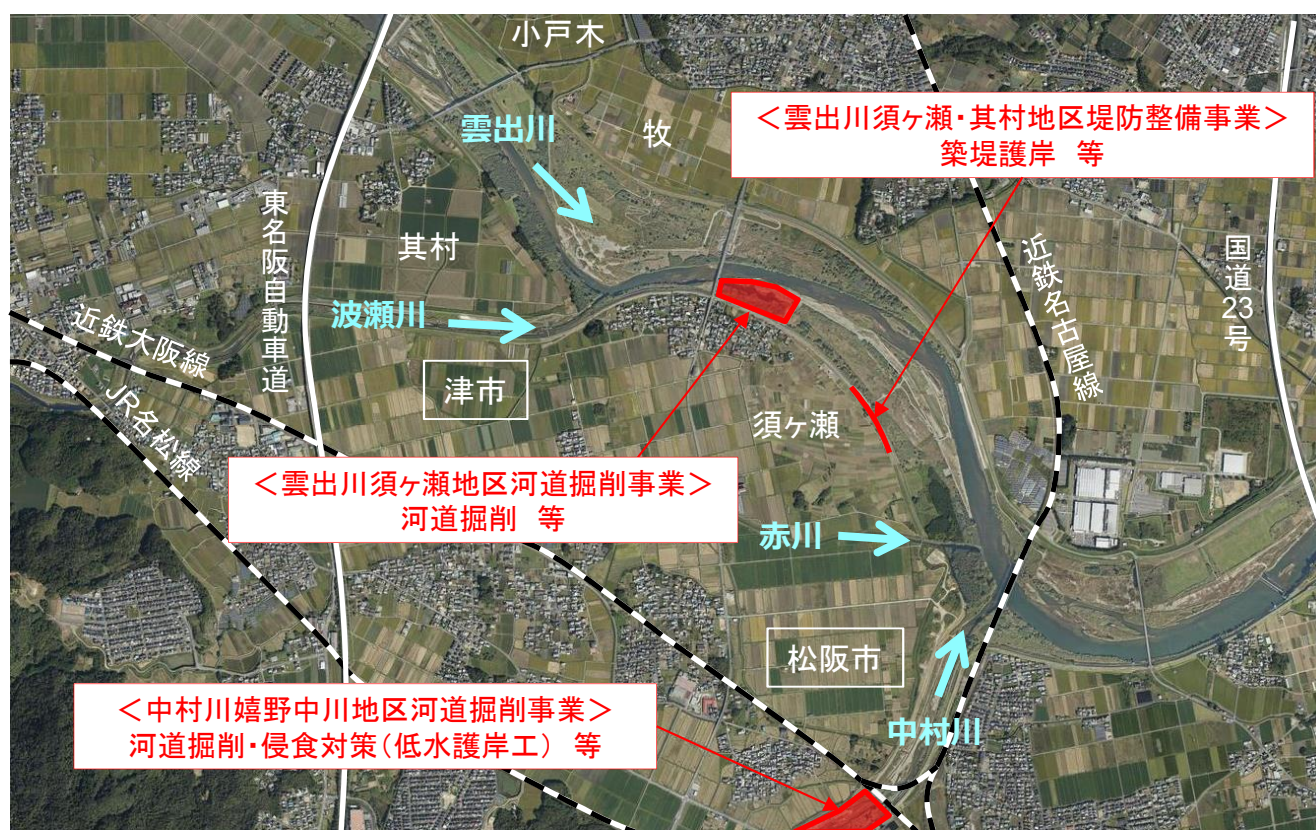


2. 事業箇所

三重県 津市・松阪市

3. 令和7年度実施予定内容及び現在の実施状況

引き続き、築堤護岸、河道掘削 等を実施。



4. 整備効果

重点:①国民の安全・安心の確保

雲出川水系における流域治水の加速化・深化

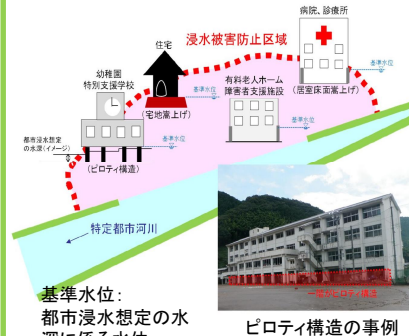
- 雲出川水系では、「流域治水」の本格的な実践に向けて、令和5年3月31日に一級河川雲出川水系中村川・波瀬川等の計8河川を特定都市河川に指定し、令和6年8月には「雲出川水系中村川・波瀬川・赤川流域水害対策計画」を策定しました。
- 特定都市河川流域では、河道掘削・遊水地等のハード整備の加速化に加え、流域における貯留・浸透機能の向上、水害リスクを踏まえたまちづくり・住まいづくり等の浸水被害対策を流域のあらゆる関係者と目標や実施時期を共有しながら、計画的・集中的に進めていきます。
- 「雲出川水系中村川・波瀬川・赤川 流域水害対策計画」に位置付けられたハード整備を実施することで、戦後第1位となる流量を記録した昭和57年8月洪水と同等の降雨が発生した場合の浸水面積は、約1,010haから約350haまで縮小し、浸水戸数(世帯)は、約2,550世帯から約310世帯に低減するものと推定しています。

河川整備の加速化

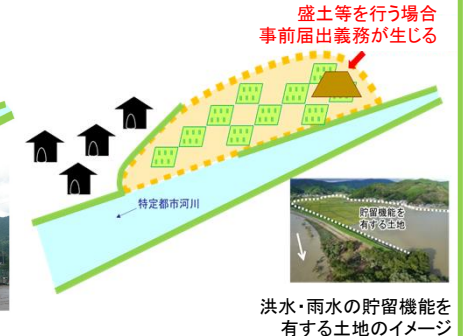


氾濫域における対策(例)

浸水被害防止区域の指定



貯留機能保全区域の指定

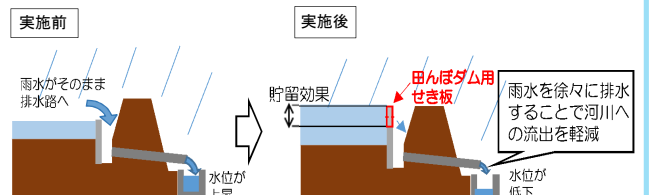


集水域における対策(例)

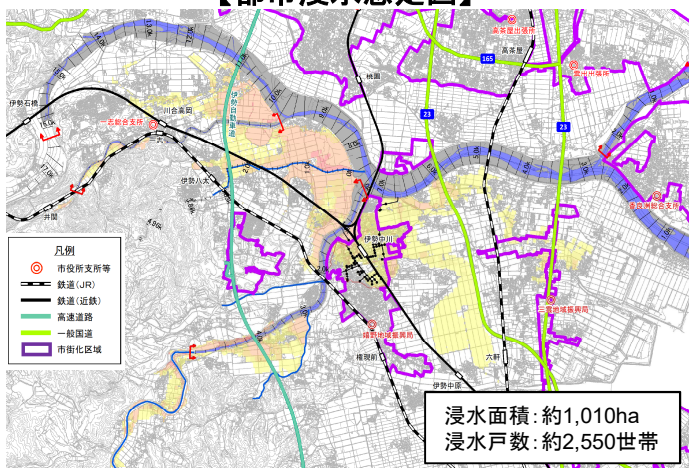
開発等に伴う雨水流出増に対する流出抑制対策の義務付け(雨水浸透阻害行為の許可)



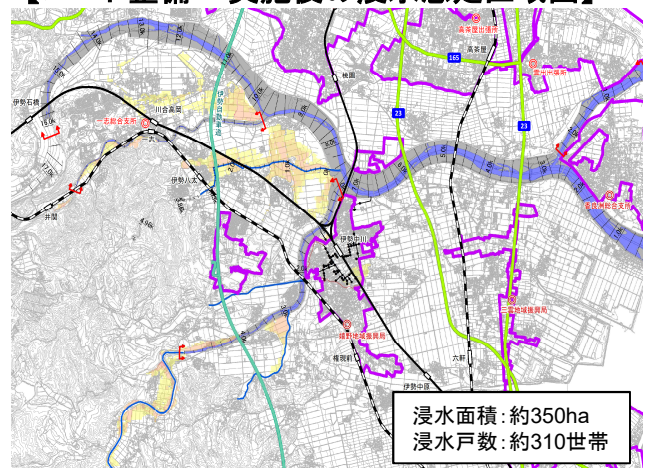
水田貯留(田んぼダム)の実施



【都市浸水想定図】※1



【ハード整備※4実施後の浸水想定区域図】※2



※1 本浸水想定は、特定都市河川の中村川・波瀬川・赤川の洪水または雨水出水による浸水が想定される区域を示したものであり雲出川からの越水は考慮していない。

※2 流域水害対策計画に基づく河川整備(国・三重県)、下水道整備(津市、松阪市)等

きそがわ
木曽川下流河川改修事業
木曽三川河口部耐震対策事業 他

令和7年度当初:21.6億円

(岐阜県分:3.1億円、愛知県分:1.2億円、三重県分:17.2億円)

1. 事業の必要性及び概要

木曽三川河口部に広がる濃尾平野は、我が国最大の海拔ゼロメートル地帯となっており、地震により堤防が被災し、津波や高潮により決壊すれば、長期間湛水したままの状況が続くなど、甚大な被害が予想されます。

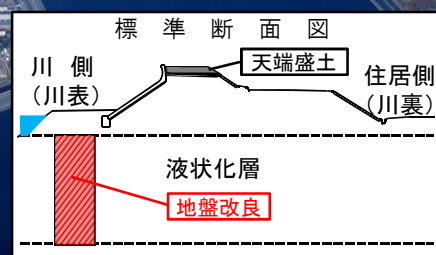
そのため、木曽三川河口部では、流域一体で浸水被害を軽減するため、沿川市町による「被害対象を減らす取組」と合わせ、地震による河川堤防の沈下を抑制する対策を実施しています。

2. 事業箇所

くわなぐん きそさきちょう
三重県 桑名郡木曽岬町

3. 令和7年度実施予定内容及び現在の実施状況

耐震対策(地盤改良)等 を実施。

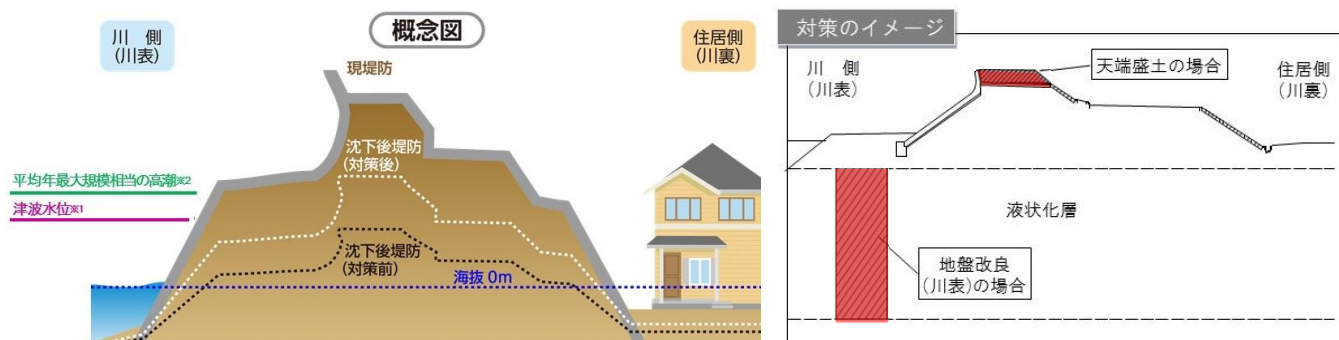


4. 整備効果

重点: ①国民の安全・安心の確保

木曾三川河口部における流域治水の加速化・深化

- 木曾三川河口部に広がる濃尾平野は、我が国最大の海拔ゼロメートル地帯であり、地震により堤防が被災し、津波や高潮により決壊すれば、甚大な被害が予想されるため、地震による河川堤防の沈下を抑制等する対策を実施しています。
- これまでに、考えられる最大級の地震により堤防の沈下等が生じた状態で、津波※1による浸水被害を防ぐ対策については令和4年1月に完了しており、さらなる安全度の向上のため、近年の平均年最大規模相当の高潮※2での浸水被害を防ぐ対策を進めています。
- また、沿川市町による「被害対象を減らす取組」など合わせ、流域一体で浸水被害を軽減させる取組を推進しています。



※1) 津波水位: 数十年から百数十年に一度程度の頻度で到達すると想定される津波による水位

※2) 近年の平均年最大規模相当の高潮: 木曾川水系河川整備計画の目標としている高潮。

木曾三川河口部は、伊勢湾内湾に位置しており、津波が減衰することから、想定される津波水位よりも、近年の平均年最大規模相当の高潮が高くなると想定。

<耐震対策(地盤改良)の実施状況>



<耐震対策(天端盛土)の実施状況>



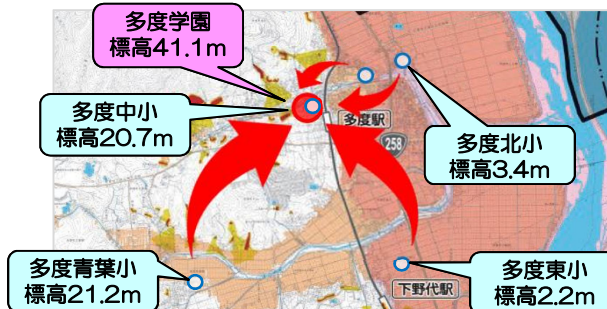
- 沿川の桑名市では、「被害対象を減らす取組」として、洪水時の浸水想定や南海トラフ地震における津波被害想定及び高潮時の浸水想定を踏まえた「消防本部の高台移転」や「小・中学校の高台移転」などを実施し、災害に強いまちづくりを推進しています。

消防本部の高台移転(消防庁舎等再編整備)など

災害拠点となる消防本部の高台移転を含めた消防庁舎等再編整備を行い、より強固な防災体制を確立



小学校・中学校の高台移転(多度地区小中一貫校整備)



※令和4年度第2回木曾川水系流域治水協議会 流域治水対策の代表事例より抜粋

とうかいかんじょう
国道475号 東海環状自動車道
くまの きほうくまの
国道42号 熊野道路、紀宝熊野道路

令和7年度当初【東海環状自動車道】：330.2億円

〔三重県分：109.7億円〕

【熊野道路、紀宝熊野道路】：73.4億円

1. 事業の必要性及び概要

- 東海環状自動車道は、地域活性化・地域開発の支援を目的とした中京圏の環状道路を形成する延長約153kmの高規格道路です。
- 熊野道路・紀宝熊野道路は、近畿自動車道紀勢線の一部となつて、高規格道路のミッシングリンク解消及び直轄国道とのダブルネットワーク化による道路ネットワーク機能強化を目的に計画された一般国道の自動車専用道路です。

2. 事業箇所

- 東海環状自動車道 とうかいかんじょう：愛知県豊田市～三重県四日市市 とよた よっかいち
- 熊野道路、紀宝熊野道路 くまの きほうくまの：三重県熊野市大泊町 くまの おおどまりちよう
～南牟婁郡紀宝町神内 みなみむろぐん きほうちようこうのうち



3. 令和7年度事業予定内容及び現在の実施状況

■ 東海環状自動車道 とうかいかんじょう

【養老～北勢(延長18.0km うち三重県9.0km)】

- 養老IC～いなべIC(延長18.0km)の改良工事、橋梁工事等を推進。

■ 熊野道路、紀宝熊野道路 くまの きほうくまの

- 熊野市大泊町～熊野市久生屋町(延長6.7km)の改良工事、橋梁工事、トンネル工事等を推進。
- 熊野市久生屋町～紀宝IC(延長15.6km)の用地買収等を推進。



東海環状自動車道
いなべIC付近



熊野道路
熊野大泊IC付近

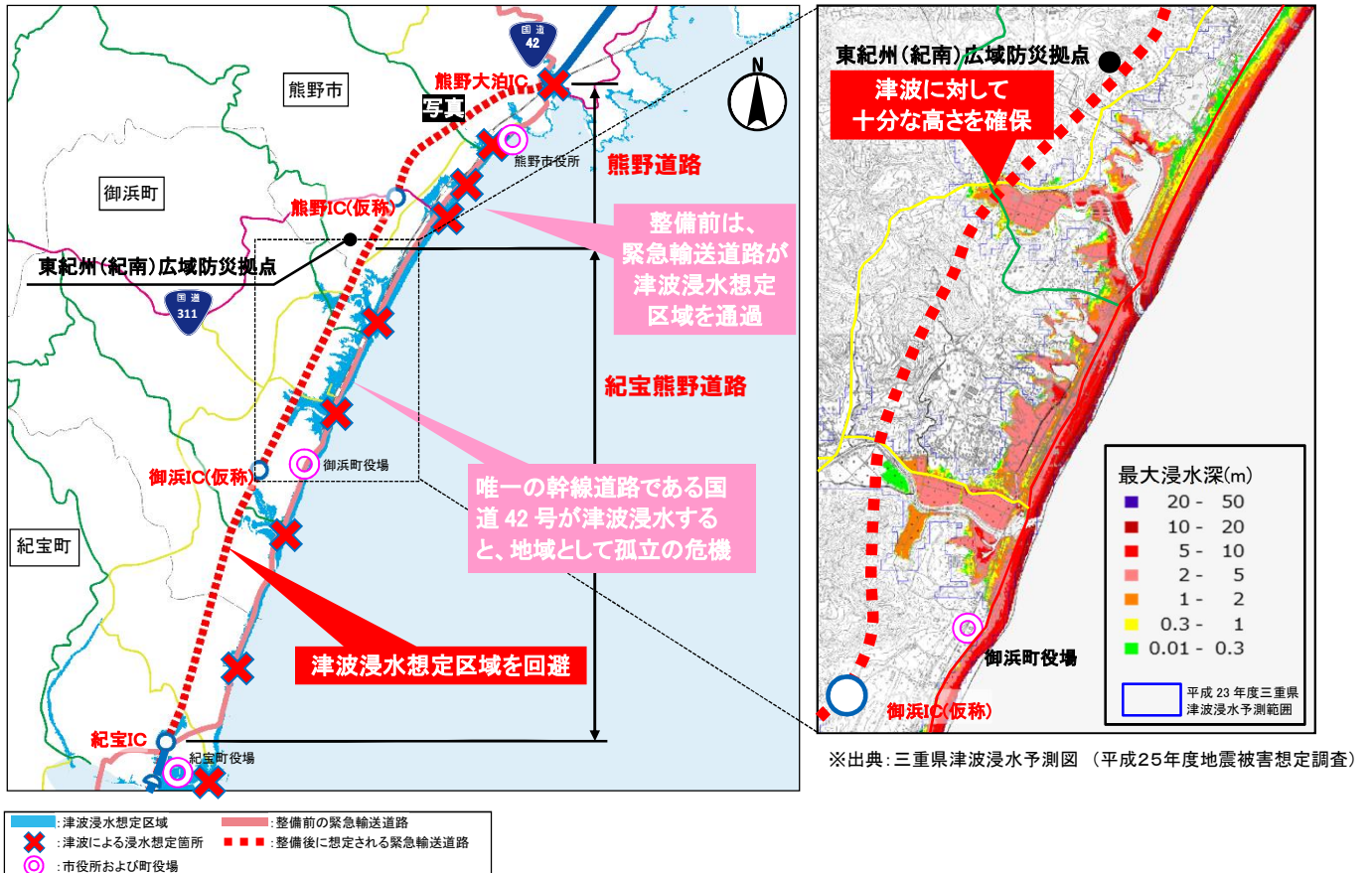
4. 整備効果

○重点：①国民の安全・安心の確保

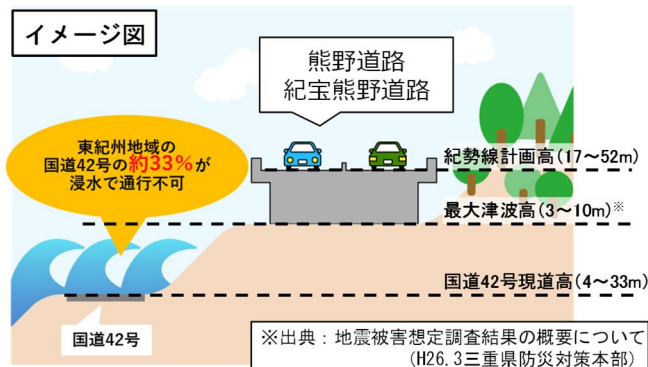
高速道路ネットワークの形成により、災害に強い道路機能を確保！！

- 東紀州地域の国道42号は、南海トラフ巨大地震等の大規模地震時の津波浸水想定区域を通過
- 国道42号熊野道路・紀宝熊野道路は、**津波浸水想定区域を避けるとともに十分な高さを確保した計画路線であり、大規模災害時における緊急輸送道路や一時的な避難場所として活用するため緊急避難施設を設置し、地域の避難活動を支援**

■津波による国道42号の浸水想定箇所



■津波浸水時のイメージ



■紀勢自動車道での緊急避難施設設置例（尾鷲市）

尾鷲北 IC 付近 (R6.7.10 撮影)



よっかいち かすみがうら
四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業

令和7年度当初：15.9億円

1. 事業の必要性及び概要

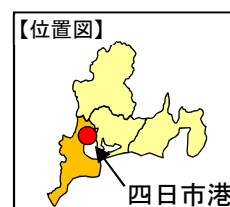
近年、東南アジア航路のコンテナ貨物の増加やコンテナ船の大型化の進展により、水深14m岸壁を有する北ふ頭の利用が増加しています。また、背後の自動車企業等において完成自動車の取扱が増加する見込みです。

今後、大型船の着岸可能な岸壁の不足が見込まれることから、これらに対応した港湾機能の強化が必要となっています。

このため、^{かすみがうら}霞ヶ浦地区において国際物流ターミナルの整備を行います。

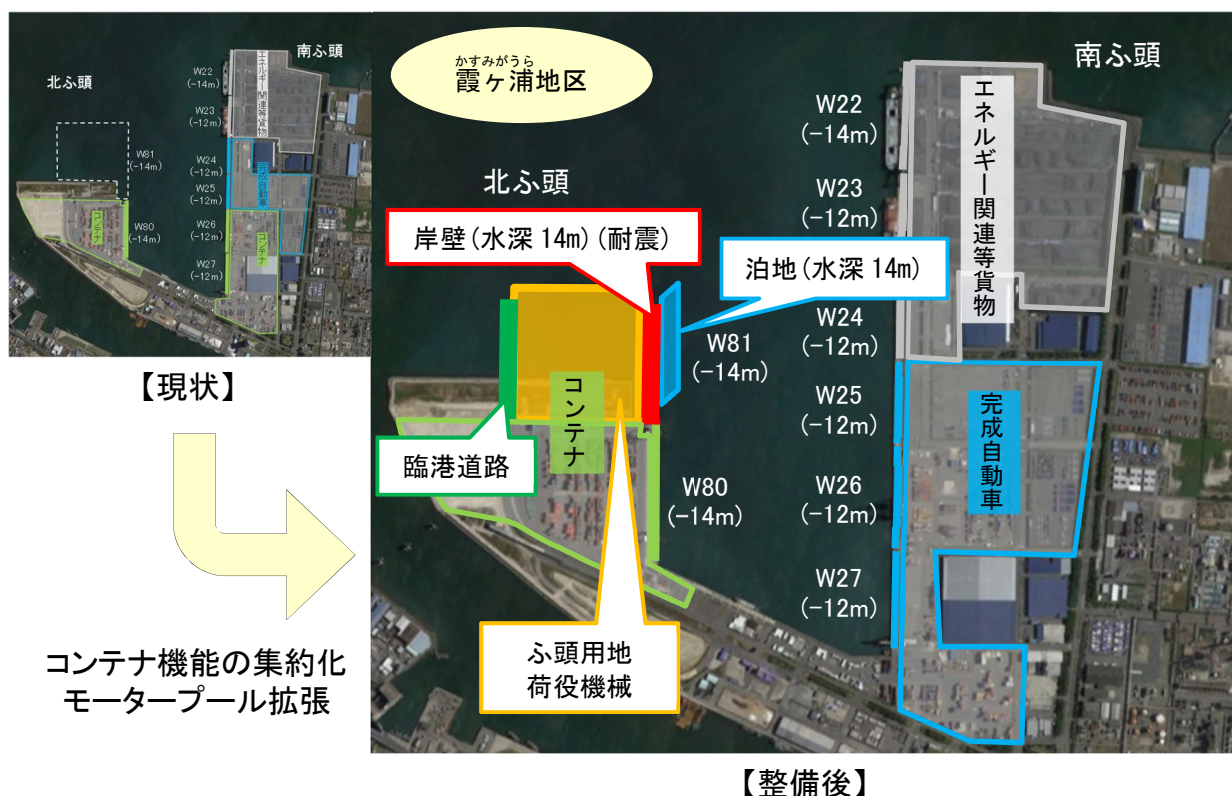
2. 事業箇所

^{よっかいち}
三重県四日市市



3. 令和7年度事業予定内容及び現在の実施状況

引き続き、耐震強化岸壁等の整備を実施します。



4. 整備効果

重点：①国民の安全・安心の確保

<被災時における社会・経済活動の維持>

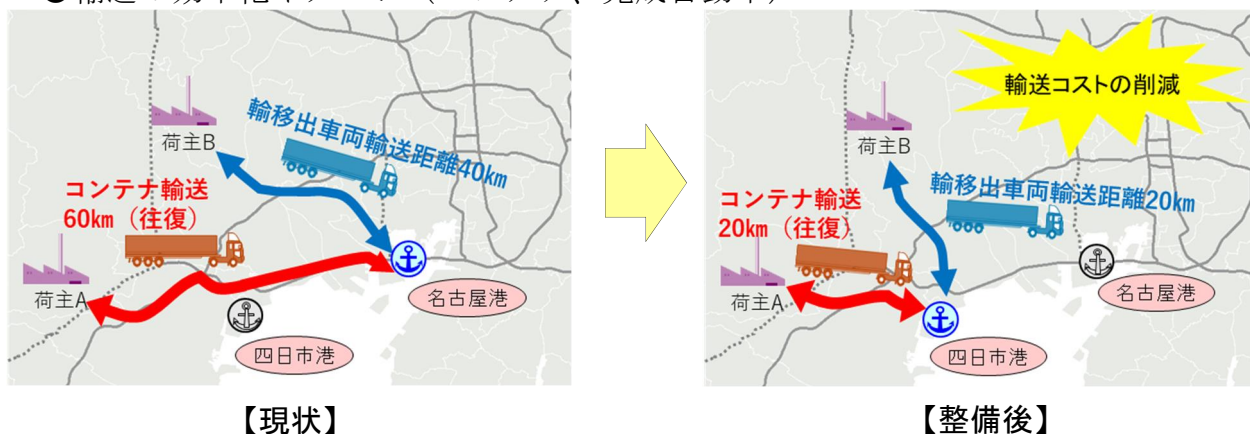
耐震強化岸壁の整備により、被災時においても海上輸送が可能となり、背後企業の事業継続、物流機能が確保できます。

重点：③地方創生 2.0 に資する個性をいかした地域づくりと分散型国づくり

<コンテナ等輸送距離短縮による効率化>

新たな岸壁の整備により、大型化が進展しているコンテナ船の着岸が可能となり、^{よっかいち}四日市港における取扱貨物量の増加が見込まれ、他港への非効率な陸上輸送が解消されます。また、コンテナ貨物の輸出入や完成自動車の輸移出のための陸上輸送距離が短縮されることで、効率的な輸送体系の形成が可能となります。

●輸送の効率化イメージ（コンテナ、完成自動車）



<ターミナルの効率化>

^{かすみがうら}霞ヶ浦地区の北ふ頭にコンテナ機能が集約化されることで、荷捌き地等の不足・分散による横持ちが解消され、効率的な荷役が可能となります。



よっかいち
四日市港海岸直轄海岸保全施設整備事業

令和7年度当初：5.7億円

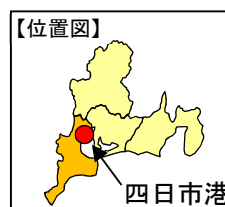
1. 事業の必要性及び概要

四日市港海岸の石原地区、塩浜地区の既存海岸保全施設は、施設直下に液状化層が存在するなど、大規模地震発生時には液状化等により海岸保全施設に変位が生じて防護機能が損なわれ、津波や高潮による甚大な浸水被害の発生が懸念されています。

このため、背後地域の貴重な生命・財産を守るべく、石原地区、塩浜地区において海岸保全施設の耐震対策等を行います。

2. 事業箇所

よっかいち
三重県四日市市



3. 令和7年度事業予定内容及び現在の実施状況

引き続き、海岸保全施設の耐震対策等を実施します。

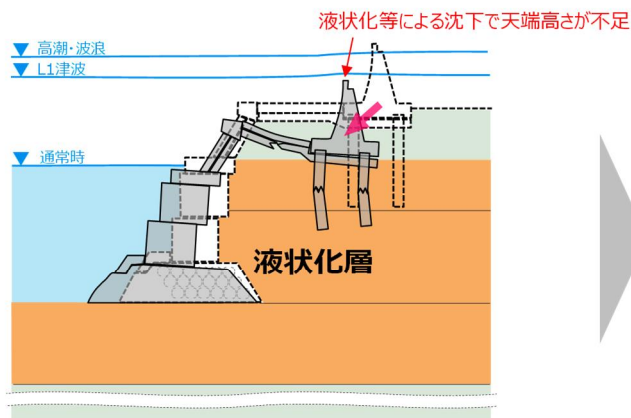


4. 整備効果

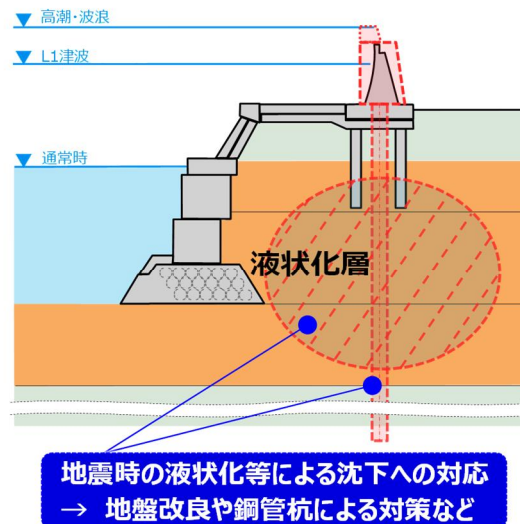
重点：①国民の安全・安心の確保

<浸水リスクの低減により、背後地域が活性化>

海岸保全施設の耐震対策等を図ることで液状化による沈下を防いで計画天端高さを確保し、津波（L1 津波）・高潮（伊勢湾台風クラス）による浸水を防護し、背後地域における住民の安全・安心を確保します。



【現状】



【整備後】

本整備により、住宅地ならびに中部圏のエネルギー生産・供給や地域の最先端産業を支える事業所等が多数立地する四日市臨海部の大規模災害発生時における「地域住民の生命・財産の防護」及び「企業活動の維持」が見込まれます。



てんりゅうがわ
天竜川上流河川改修事業
やまぶき ミズベ
天竜川山吹地区MIZBEステーション整備事業 他

令和7年度当初 : 6. 1億円

1. 事業の必要性及び概要

天竜川では、国道153号沿いに商業施設や福祉施設が分布している高森町山吹地区^{たかもりまち}において、堤防整備と合わせて、洪水による緊急復旧活動や水防活動を迅速に行うための拠点となる「天竜川山吹地区MIZBEステーション」を整備しています。また、高森消防署の高台移転と一体的に整備し、地域防災力の強化を図ります。

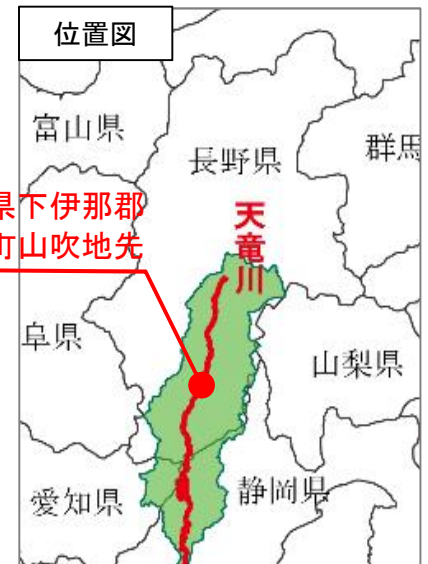
平常時は、高森町において整備するレクリエーションスペース等により、地域活性化や賑わいの創出が期待されます。

2. 事業箇所

しもいな たかもりまち
長野県下伊那郡高森町

3. 令和7年度実施予定内容及び現在の実施状況

MIZBEステーション表面整備(舗装等)を推進。



4. 整備効果

重点:①国民の安全・安心の確保

- 天竜川上流域は、狭窄部と拡幅部が連続する急流河川で、中央構造線等多くの断層が縦断しており、崩壊しやすい地質と急峻な地形により大量の土砂が流出する特性があり、洪水時には河岸侵食などの危険性が高い区間です。そのため、災害時に緊急復旧活動や水防活動を迅速に行うための拠点となる「天竜川山吹地区MIZBEステーション」を高森町と連携して整備します。



S58年台風10号災害浸水状況(飯田市松尾地区) 平成18年7月豪雨河岸浸食状況



平成18年7月豪雨応急復旧状況

- MIZBEステーションの整備と高森消防署の高台移転を一体的に実施し、地域防災力の向上を図るとともに、平時は、高森町による上面等の活用により、地域活性化・賑わいの創出を図ります。

山吹MIZBEステーション(周辺)計画平面図



防災学習(平時利用案)



カヌー(平時利用案)



【連携先の事業主体】：高森町

<案>

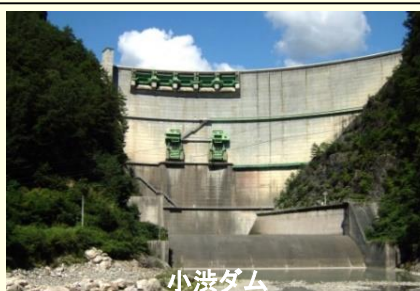
- 川を学ぶ拠点：展示物、発電設備、水防センター等
- 川と遊ぶ拠点：親水広場、カヌー・ラフティング等
- 外から人を呼ぶ拠点：キャンプ場、ビアガーデン等
- 川と町を結び拠点：歩道整備、桜並木の整備 等
- 健康づくりの拠点：ウォーキングコース、芝生広場等

天竜川上流部における治水機能増強検討調査

- 令和6年7月に天竜川水系河川整備計画を変更しました。
- 増量した目標流量に対する洪水調節機能の強化については、既設美和ダムや小渋ダム等を最大限活用した事前放流や操作方法の見直し、治水・利水の貯水容量の再編等について調査・検討を行います。
- また、さらに洪水調節機能の増強が必要な場合には、既設ダムの放流能力の増強・堤体の嵩上げ、新設ダム等に関する調査・検討を行います。
- これらの調査・検討するための「治水機能増強検討調査」に新規着手します。

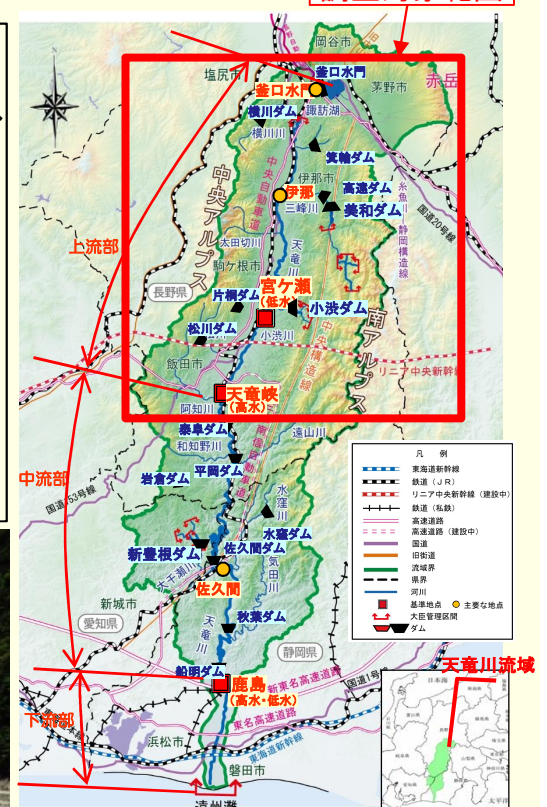


美和ダム



小渋ダム

調査対象範囲



木曾川水系直轄砂防事業(地蔵沢第1砂防堰堤)

令和7年度当初:27.6億円

(岐阜県分:11.4億円、長野県分:16.2億円)

1. 事業の必要性及び概要

当該溪流の保全対象には、重要伝統的建造物群保存地区で中山道の木曾11宿のひとつである妻籠宿が含まれています。

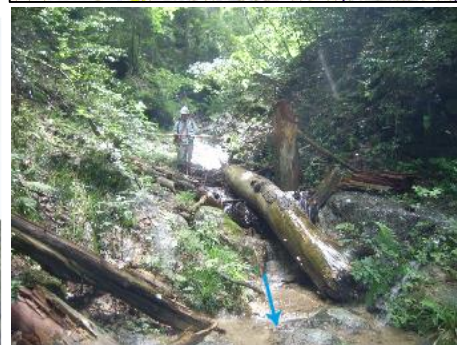
土石流が生じた場合、避難所を含め多くの人家や地域の重要な産業基盤でもある観光資源等に甚大な被害が及ぶ可能性が高く、下流木曾川本川への土砂流出により、土砂・洪水氾濫のおそれも高いことから、砂防施設の整備を早急に行う必要があります、地蔵沢第1砂防堰堤の整備に着手します。

2. 事業箇所

長野県木曾郡南木曾町

3. 令和7年度実施予定内容

本体工事に向けた工事用道路の整備を実施。



中流域の溪流状況



妻籠宿 (観光資源)



施工箇所(完成イメージ)



【保全対象】
保全人家:50戸、国道256号、
公共施設(妻籠宿)

4. 整備効果

重点:①国民の安全・安心の確保

■想定される被害

- ・木曽川上流部は、急峻な地形で、季節による気温較差が大きく、風化によりもろく崩れやすい花崗岩を基盤岩としていること等から、崩壊地が広く分布しています。
- ・河床にも、崩落した土砂が厚く堆積しており、また、溪床勾配が急なため、洪水時には木曽川本川へ多量の土砂を流出させる危険性が高い状況にあります。
- ・そのため、毎年のように土砂災害が発生し、河道の土砂堆砂による土砂・洪水氾濫被害や、土石流災害による人的、財産被害の発生が想定されます。

近年の災害等の状況

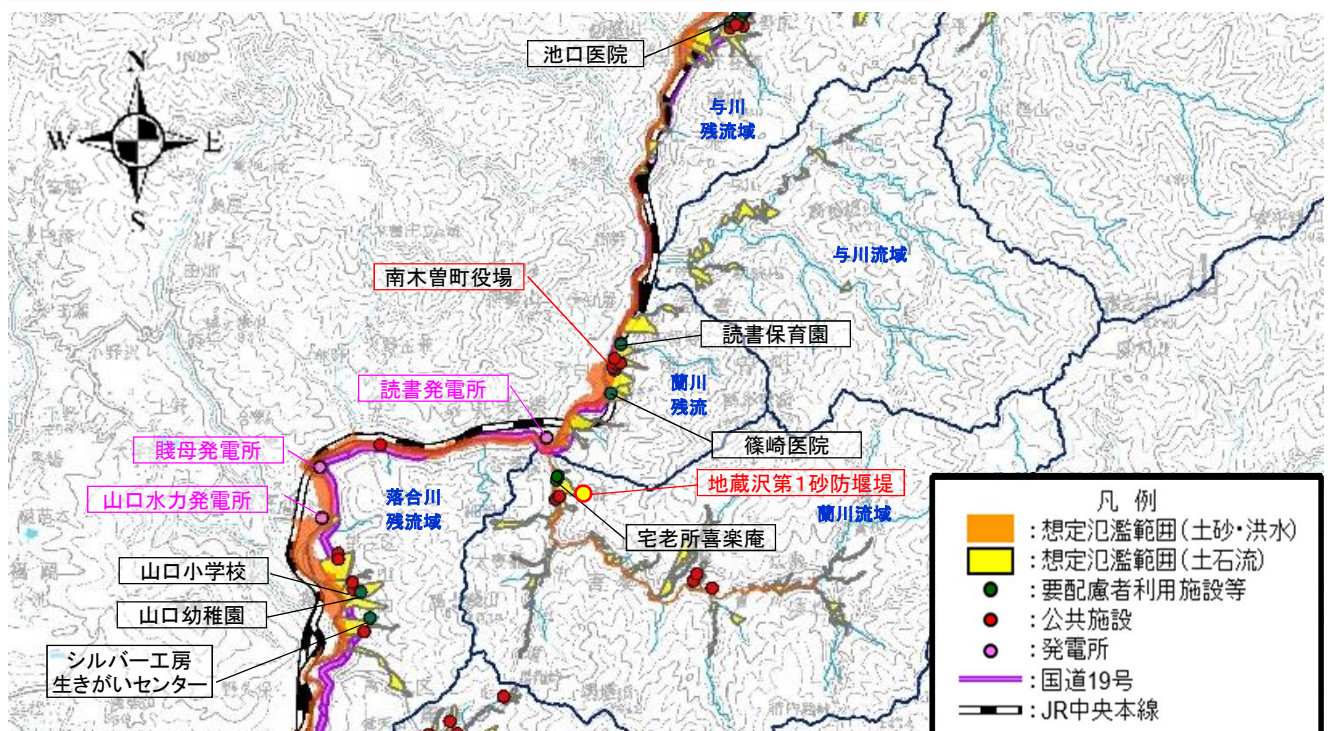
木曽川直轄砂防流域の木曽郡南木曽町では、平成26年7月、台風8号接近に伴う豪雨により大規模な土石流が発生。

氾濫により死者1名、負傷者3名、家屋全壊10戸のほか、土砂流出により国道19号やJR中央本線が不通となる被害が発生しました（梨子沢土石流災害）。



■災害発生時の影響（令和5年度事業評価説明資料より）

南木曽町周辺の氾濫範囲と重要交通網・避難所の保全状況



■事業効果

砂防施設の整備によって直轄砂防流域の重要施設(主要公共施設等、要配慮者利用施設等、避難所、重要交通網)に対する土砂・洪水氾濫被害、土石流被害を軽減します。

国道474号 さんえんなんしん 三遠南信自動車道

令和7年度当初【三遠南信自動車道】：132.5億円

〔長野県分：63.0億円〕

1. 事業の必要性及び概要

- さんえんなんしん 三遠南信自動車道は、ちゅうおうどう 中央道、しんとうめい 新東名と連絡し広域ネットワークを構築し、災害に強い道路機能の確保、救急医療活動の支援、地域活性化の支援を目的に計画された延長約100kmの高規格道路です。



2. 事業箇所

■ さんえんなんしん 三遠南信自動車道：長野県 いいだ 飯田市～静岡県 はまつ 浜松市

3. 令和7年度事業予定内容及び現在の実施状況

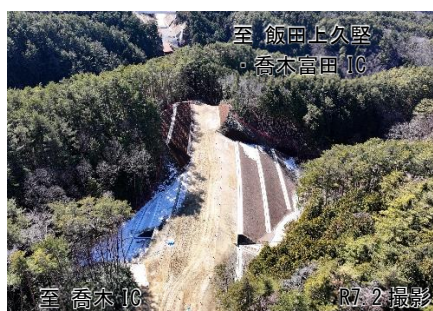
■ さんえんなんしん 三遠南信自動車道

【いいだか 飯橋道路(延長22.1km)】

- いいだかみひさかた 飯田上久堅・たかぎとみだ 喬木富田IC～たかぎ 喬木IC(延長7.5km)の改良工事、橋梁工事、トンネル工事等を推進。

【あおくずれとうげ 青崩峠道路(延長5.9km うち長野県3.3km)】

- こおろし 小嵐IC(仮称)～みさくぼきた 水窪北IC(仮称)(延長5.9km)の改良工事、トンネル設備工事等を推進。



さんえんなんしん
三遠南信自動車道
いいだか 飯橋道路 とみだ 富田地区付近



さんえんなんしん
三遠南信自動車道
いいだか 飯橋道路 6号橋付近



さんえんなんしん
三遠南信自動車道
あおくずれとうげ 青崩峠道路 本坑

4. 整備効果

重点：③地方創生 2.0 に資する個性をいかした地域づくりと分散型国づくり

(三遠南信自動車道)

搬送時間短縮による救急医療活動の支援

- 三遠南信自動車道沿線には、第三次救急医療施設である飯田市民病院等が存在。
- 三遠南信自動車道の整備の進捗により、第三次救急医療施設の60分カバー圏域が拡大。
- 長野県の上村地区^{かみむら}から飯田市立病院への所要時間は7分短縮され、更なる救命率の向上が期待。

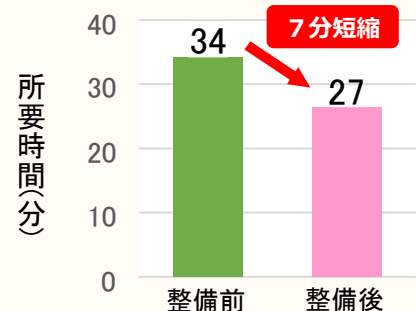
■第三次救急医療施設 60 分カバー圏域の拡大



■飯喬道路開通による飯田市立病院への 所要時間の変化



<上村地区から飯田市立病院の所要時間>



出典：ETC2.0 プローブデータ
 整備前：R1.10 平日平均 整備後：R4.10 平日平均
 (事業中区間は設計速度にて算出)

■佐久間道路・三遠道路開通による走行性・安全性の向上

<開通前>



<開通後>



3-3. 施策事例（個 票）

個票一施 1

【事業主体：国】

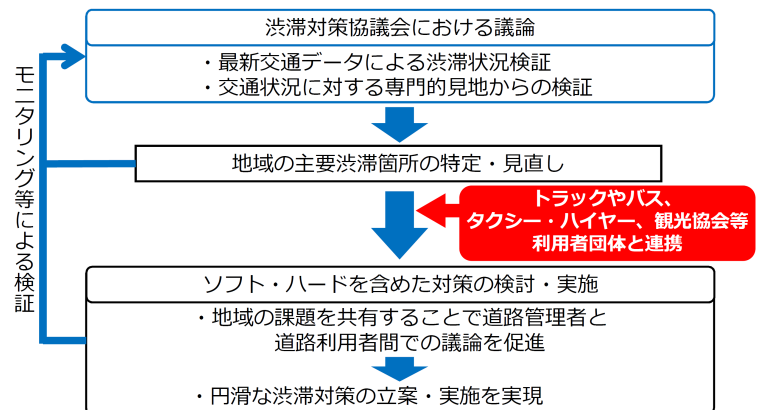
官民連携による渋滞対策の推進

1. 概要

各県単位で、道路管理者、警察等から構成される渋滞対策協議会において、効果的な対策を検討・実施しています。

この渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体との連携を強化し、利用者目線で対策箇所を特定した上で、速効性のある渋滞対策を実施します。

【渋滞対策の流れ】



2. 主な事業箇所・事業内容

が ま
国道 2 1 号河間交差点（岐阜県 大垣市）



＜＜ 左折専用レーン延伸を予定 ＞＞

こいずみわかみや
国道 1 3 9 号小泉若宮交差点（静岡県 富士宮市）



＜＜ 左折専用レーン新設を予定 ＞＞

しょうわはしひがし
国道 1 号昭和橋 東 交差点（愛知県 名古屋市）



＜＜ 交差点のコンパクト化及び
右折専用レーン延伸を予定 ＞＞

4. 県別の整備箇所事例一覧

【岐阜県内の主な整備箇所】

	箇所名	事業 主体	R7 当初配分額
河川 関係	庄内川河川改修事業(多治見市 月見地区 土岐川月見地区河道掘削事業)	国	2.0億円
	木曽川下流河川改修事業(海津市 油島地区 長良川青割堤(上)・福原地区しゅんせつ事業)	国	3.1億円
	木曽川上流河川改修事業 (大垣市 横曽根地区 牧田川左岸堤及び新旧水門川排水機場改修事業(特定構造物改築) 他)	国	28.9億円
	木曽川総合水系環境整備事業(大垣市 万石地区 自然再生 他)	国	2.5億円
	庄内川総合水系環境整備事業(多治見市 豊岡地区上流部地区 水辺整備)	国	0.3億円
	新丸山ダム建設事業	国	161.6億円
	木曽川水系直轄砂防事業(中津川市 和田沢砂防堰堤 他)	国	11.4億円
	庄内川水系直轄砂防事業(多治見市 寺下第3砂防堰堤改築 他)	国	5.4億円
	越美山系直轄砂防事業(揖斐川町 三倉大谷第1砂防堰堤 他)	国	17.1億円
	大谷川大規模特定河川事業(大垣市 JR橋梁移設 他)	県	3.0億円
	内ヶ谷ダム建設事業	県	16.1億円
	檜柄ヶ洞谷事業間連携砂防等事業(加茂郡七宗町 砂防堰堤工 他)	県	0.3億円
	河川・ダム・砂防 メンテナンス事業	県	2.1億円
道路 関係	国道475号 東海環状自動車道	国	220.6億円※
	国道158号 中部縦貫自動車道	国	36.9億円
	国道 19号 瑞浪恵那道路(瑞浪～恵那武並)・(恵那工区)	国	37.4億円
	国道 21号 岐大バイパス	国	24.8億円
	国道 41号 上麻生防災	国	5.1億円
	国道 41号 門原防災	国	19.4億円
	国道 41号 石浦バイパス	国	1.0億円
	国道156号 岐阜東バイパス	国	27.2億円
	国道156号 郡上大橋架替	国	4.1億円
	国道246号 堀越峠道路	国	1.0億円
	国道 19号 交通安全対策(上山町交差点改良)	国	0.2億円
	国道 21号 交通安全対策(八島町交差点改良)	国	0.98億円
	国道 41号 交通安全対策(宮田歩道整備)	国	1.38億円
	国道156号 交通安全対策(大島歩道整備)	国	3.3億円
公園 関係	国営木曽三川公園(国営公園整備事業)	国	2.6億円
	[木曽三川公園センター 他]		
上下 水道 関係	久田見浄水場ろ過施設更新事業(八百津町 高度浄水施設等整備事業)	市	0.9億円
	中之江川第11、12排水区 大規模雨水処理施設整備事業(大垣市 雨水ポンプ場建設 他)	市	0.8億円

※過年度に、中日本高速道路(株)に委託した工事の支払を含む

【静岡県内の主な整備箇所】

	箇所名	事業 主体	R7 当初配分額	
河川 関係	狩野川河川改修事業(沼津市 大平地区 狩野川大平地区堤防整備事業 他)	国	11.8億円	
	安倍川河川改修事業(静岡市 下河原地区 安倍川下川原地区河道掘削事業)	国	2.2億円	
	大井川河川改修事業(島田市 神座地区 大井川神座地区護岸整備事業)	国	4.3億円	
	菊川河川改修事業(掛川市 菊浜地区 菊川菊浜地区高潮堤防整備事業 他)	国	4.8億円	
	天竜川下流河川改修事業(磐田市 野部地区 天竜川野部地区浸食対策事業 他)	国	3.3億円	
	狩野川総合水系環境整備事業(沼津市 上土地区 水辺整備 他)	国	0.7億円	
	大井川総合水系環境整備事業(島田市 宝来地区 水辺整備)	国	0.2億円	
	天竜川ダム再編事業	国	9.0億円	
	狩野川水系直轄砂防事業(伊豆市 松沢川砂防堰堤群 他)	国	7.9億円	
	富士山直轄砂防事業(富士宮市 風祭上流堰堤工群 他)	国	29.1億円	
	安倍川水系直轄砂防事業(静岡市 有東木地区砂防堰堤工群 他)	国	7.2億円	
	由比地区直轄地すべり対策事業	国	23.1億円	
	長島ダム堰堤改良事業	国	2.4億円	
	沼川大規模特定河川事業(沼津市 放水路整備 他)	県	7.6億円	
	天竜川水系平松地区大規模特定砂防等事業(磐田市 砂防堰堤工)	県	1.2億円	R7年度新規事業化
道路 関係	河川・ダム・砂防 メンテナンス事業	県	3.7億円	
	国道1号・414号 伊豆縦貫自動車道	国	51.5億円	
	国道474号 三遠南信自動車道	国	19.2億円	
	国道 1号 東駿河湾環状道路(沼津岡宮～愛鷹)	国	6.5億円	
	国道 1号 静清バイパス	国	51.6億円	
	国道 1号 藤枝バイパス	国	28.8億円	広幅IC～数田東IC R8年度開通予定
	国道 1号 島田金谷バイパス	国	9.7億円	
	国道 1号 浜松バイパス(長鶴～中田島)	国	1.1億円	
	国道139号 富士改良	国	21.0億円	
	国道139号 小泉若宮局所渋滞対策	国	0.1億円	R7年度新規事業化
	国道246号 裾野バイパス	国	1.6億円	
	国道 1号 交通安全対策(川辺町交差点改良)	国	0.05億円	R7年度新規事業化
	国道 1号 交通安全対策(袋井東部地区事故対策)	国	0.09億円	R7年度新規事業化
	国道139号 交通安全対策(広見IC交差点改良)	国	3.3億円	
	国道139号 交通安全対策(富士宮地区通行空間整備)	国	0.4億円	
	国道139号 交通安全対策(富士宮地区(根原)通行空間整備)	国	0.3億円	
	国道246号 交通安全対策(小山上野地区視距改良)	国	1.93億円	
	国道139号 小泉電線共同溝	国	2.7億円	
港湾 関係	清水港新興津地区国際物流ターミナル整備事業	国	20.9億円	
	清水港袖師地区岸壁改良事業	国	1.2億円	R7年度完成予定
	清水港外港地区防波堤(改良)整備事業	国	0.6億円	
	御前崎港女岩地区岸壁改良事業	国	4.0億円	
	御前崎港女岩地区防波堤(改良)整備事業	国	2.3億円	
	田子の浦港港口地区航路・泊地整備事業	国	2.0億円	R7年度完成予定
	下田港防波堤整備事業	国	3.7億円	
海岸 関係	富士海岸直轄海岸保全施設整備事業	国	10.8億円	
	駿河海岸直轄海岸保全施設整備事業	国	13.6億円	
	相良須々木海岸津波対策緊急事業	県	1.0億円	
	海岸メンテナンス事業	県	0.2億円	
上下 水道 関係	水道スマートメーター設置(湖西市 上下水道DX推進事業)	市	0.4億円	
	中島雨水ポンプ場大規模雨水処理施設整備事業(静岡市 雨水ポンプ場改築 他)	市	1.4億円	

【愛知県内の主な整備箇所】

	箇所名	事業 主体	R7 当初配分額	
河川 関係	とよがわ 豊川河川改修事業(豊川市 下条地区 豊川下条霞浸水被害対策事業 他)	国	5.5億円	
	やはぎがわ 矢作川河川改修事業(豊田市 水源地区 矢作川鵜の首地区水位低下対策事業 他)	国	10.1億円	
	しょうないがわ 庄内川河川改修事業(名古屋市長瀬市 枇杷島・西枇杷島地区 庄内川枇杷島橋架替事業 他)	国	13.8億円	
	きそがわ 木曽川下流河川改修事業(愛西市 福原地区 木曽川福原地区河川防災ステーション整備事業 他)	国	1.2億円	
	木曽川上流河川改修事業(一宮市 起・小信中島地区 木曽川起・小信中島堤防整備事業)	国	3.1億円	
	とよがわ 豊川総合水系環境整備事業(豊橋市、豊川市 豊川下流部地区 自然再生)	国	0.4億円	
	やはぎがわ 矢作川総合水系環境整備事業(豊田市 白浜地区 水辺整備 他)	国	1.4億円	
	木曽川総合水系環境整備事業(愛西市 上之輪新田等地区 自然再生 他)	国	1.6億円	
	やはぎ 矢作ダム再生事業	国	1.2億円	
	したたら 設楽ダム建設事業	国	154.5億円	
	やはぎ 矢作ダム堰堤改良事業	国	3.6億円	
	やぎゅうがわ 柳生川大規模特定河川事業(豊橋市 地下河川整備 他)	県	3.6億円	
	ほりかわ 堀川事業関連連携河川事業「100mm/h安心プラン」(名古屋市 護岸整備 他)	市	2.6億円	
	とうらいちろう 陶栄町区域まちづくり連携砂防等事業(瀬戸市 法面工 他)	県	0.1億円	R7年度新規事業化
道路 関係	河川・ダム・砂防 メンテナンス事業	県	8.2億円	
	さんえんなんしん 国道474号 三遠南信自動車道	国	50.3億円	東栄IC～鳳来峡IC R7年度開通予定
	あつたてんま 国道 1号 震災橋架替(熱田伝馬橋架替)	国	4.3億円	
	めいぎ いちのみや いちのみやそがわ 国道 22号 名岐道路(一宮～一宮木曽川)	国	1.0億円	R7年度新規事業化
	とよがわ 国道 23号 豊橋バイパス	国	6.6億円	
	がまごおり 国道 23号 蒲郡バイパス	国	19.9億円	
	おかざき 国道 23号 岡崎バイパス	国	1.0億円	
	めいろう 国道 41号 名濃バイパス	国	2.9億円	
	とよたきた 国道153号 豊田北バイパス	国	3.1億円	
	いせがみ 国道153号 伊勢神改良	国	28.3億円	
	とよたみなみ 国道155号 豊田南バイパス	国	32.2億円	豊田市東新町～逢妻町 R8年度開通予定
	にしちた 国道247号 西知多道路(東海ジャンクション)	国	50.3億円	
	にしちた ながうら ひなが 国道247号 西知多道路(長浦～日長)	国	32.5億円	
	なごやかんじょう 国道302号 名古屋環状2号線	国	53.1億円	
	こうしき 国道 1号 交通安全対策(国府駅前交差点歩道橋整備)	国	1.5億円	
	なごや なんぶ 国道 1号 交通安全対策(名古屋南部交差点改良)	国	0.4億円	R7年度新規事業化
	なごや 国道 1号 交通安全対策(名古屋中部交差点改良)	国	0.4億円	R7年度新規事業化
	なごや とうぶ 国道 19号 交通安全対策(名古屋東部交差点改良)	国	0.4億円	R7年度新規事業化
	なごや ちゅうぶ 国道 22号 交通安全対策(名古屋中部地区自転車通行空間整備)	国	0.87億円	
	おたぎ 国道153号 交通安全対策(小田木歩道整備)	国	1.14億円	
港湾 関係	てんばくやきやま 国道153号 天白焼山電線共同溝	国	3.8億円	
	なるとみ 国道302号 鳴海Ⅱ共同溝	国	6.8億円	
	なごや 名古屋港ふ頭再編整備事業	国	114.9億円	
	みかわ 三河港神野地区岸壁改良事業	国	4.3億円	
	きぬうら たけとよきた 衣浦港武豊北ふ頭地区国際物流ターミナル整備事業	国	2.1億円	R7年度完成予定
海岸 関係	きぬうら がいこう 衣浦港外港地区防波堤(改良)整備事業	国	0.5億円	
	きぬうら ちゅうおう 衣浦港中央ふ頭西地区岸壁改良事業	国	0.5億円	
海岸 関係	海岸メンテナンス事業	県	1.0億円	
公園 関係	きそ 三川公園(国営公園整備事業) 〔ワイルドネイチャープラザ〕	国	1.2億円	
官庁 営繕 関係	なごや 名古屋第4地方合同庁舎整備等事業(新築等、PFI事業)	国	37億円	R7年度完成予定
	なごや 名古屋第1地方合同庁舎(空調設備改修)	国	1.3億円	
	とよはし 豊橋地方合同庁舎(受変電設備改修・空調設備改修等)	国	5.3億円	
上下 水道 関係	あさひ 朝日系導水路B管整備事業(名古屋市 導水管・送水管耐震化事業)	市	0.5億円	
	やまざき 山崎地区ほか大規模雨水処理施設整備事業(名古屋市 雨水排水設備更新 他)	市	10.6億円	

【三重県内の主な整備箇所】

	箇所名	事業 主体	R7 当初配分額
河川 関係	木曽川下流河川改修事業(木曽岬町 加路戸地区 木曽三川河口部耐震対策事業 他)	国	17.2億円
	鈴鹿川河川改修事業(四日市市 塩浜地区 鈴鹿川塩浜地区河道掘削事業)	国	5.1億円
	雲出川河川改修事業(津市、松阪市 須ヶ瀬・其村地区 雲出川須ヶ瀬・其村地区堤防整備事業 他)	国	10.1億円
	櫛田川河川改修事業(松阪市 清水地区 櫛田川清水地区堤防整備事業)	国	1.3億円
	宮川河川改修事業(伊勢市 田尻・河崎地区 勢田川流域浸水対策緊急事業 他)	国	9.0億円
	木曽川総合水系環境整備事業(桑名市 木曽・揖斐川河口部地区 自然再生 他)	国	0.9億円
	櫛田川総合水系環境整備事業(松阪市 櫛田川中流部地区 自然再生)	国	0.1億円
	宮川総合水系環境整備事業(玉城町 宮川玉城地区 水辺整備)	国	0.6億円
	三滝新川大規模特定河川事業(四日市市 護岸工 他)	県	2.0億円
	鳥羽河内ダム建設事業	県	6.0億円
	八島川事業間連携砂防等事業(鈴鹿市 砂防堰堤工 他)	県	0.8億円
	河川・ダム・砂防 メンテナンス事業	県	3.6億円
道路 関係	国道 42号 熊野道路	国	62.5億円
	国道 42号 紀宝熊野道路	国	11.0億円
	国道475号 東海環状自動車道	国	109.7億円
	国道 1号 桑名東部拡幅	国	24.3億円
	国道 1号 北勢バイパス	国	19.6億円
	国道 1号 近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業	国	22.5億円
	国道 23号 鈴鹿四日市道路	国	9.0億円
	国道 23号 中勢道路	国	4.6億円
	国道 42号 松阪多気バイパス	国	10.0億円
	国道 23号 交通安全対策(林崎町交差点改良)	国	0.38億円
	国道 23号 交通安全対策(市場庄町交差点改良)	国	0.38億円
	国道 25号 交通安全対策(大内IC下りオンランプ改良)	国	0.3億円
	国道 42号 交通安全対策(丹生栃原歩道整備)	国	0.81億円
港湾 関係	四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業	国	15.9億円
	四日市港外港地区防波堤(改良)整備事業	国	2.0億円
海岸 関係	四日市港海岸直轄海岸保全施設整備事業	国	5.7億円
	上野・白塚海岸海岸保全施設整備連携事業	県	0.4億円
	海岸メンテナンス事業	県	1.1億円
公園 関係	国営木曽三川公園(国営公園整備事業) 〔桑名七里の渡し公園〕	国	0.3億円
官庁 営繕 関係	四日市港湾合同庁舎 (建具改修・給排水設備改修等)	国	1.2億円
上下 水道 関係	紫外線処理施設整備事業(四日市市 高度浄水施設等整備事業)	市	3.3億円
	桧尻第2排水区大規模雨水処理施設整備事業(伊勢市 雨水管渠築造 他)	市	3.1億円

【長野県内の主な整備箇所】

	箇所名	事業 主体	R7 当初配分額
河川 関係	てんりゅうがわ 天竜川上流河川改修事業(高森町 山吹地区 天竜川山吹地区MIZBEステーション整備事業 他)	国	6.1億円
	てんりゅうがわ 治水機能増強検討調査(天竜川上流)	国	1.0億円
	てんりゅうがわ 天竜川水系直轄砂防事業(駒ヶ根市 古屋敷第2砂防堰堤 他)	国	47.1億円
	まがわ 木曾川水系直轄砂防事業(南木曾町 地藏沢第1砂防堰堤 他)	国	16.2億円
	てんりゅうがわ 天竜川中流地区直轄地すべり対策事業	国	5.3億円
	このた 此田地区直轄地すべり対策事業	国	0.8億円
	こしがわ 小渋ダム堰堤改良事業	国	1.8億円
道路 関係	さんえんなんしん 国道474号 三遠南信自動車道	国	63.0億円
	やぶはら 国道 19号 藪原改良	国	6.1億円
	いこま 国道153号 伊駒アルプスロード	国	4.0億円
	いいだみなみ 国道153号 飯田南バイパス	国	1.0億円
	かきはし 国道 19号 交通安全対策(棧地区歩道設置)	国	5.13億円

【山梨県内の主な整備箇所】

	箇所名	事業 主体	R7 当初配分額
河川 関係	ふじさん 富士山直轄砂防事業(富士吉田市、鳴沢村 北麓遊砂地工群)	国	5.4億円

【奈良県内の主な整備箇所】

	箇所名	事業 主体	R7 当初配分額
道路 関係	めいはん 国道25号 名阪道路	国	0.1億円

- 注1) 記載事業は、国庫債務負担行為(ゼロ国債)を除きます。
 注2) 県をまたぐ事業については当該県分のR7当初配分額が記載されています。
 注3) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合があります。

令和7年度の道路調査の見通しについて(ネットワーク)

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。
主な調査箇所は、下記の通りです。

【主な調査箇所】

都市計画・環境アセスメントを進めるための調査

静岡県・愛知県 はままつ こさい とよはし 浜松湖西豊橋道路
愛知県 いちのみやにしこう 一宮西港道路

概略ルート・構造の検討(計画段階評価を進めるための調査)

静岡県 しずおか なんぼく 静岡南北道路 ながめま 長沼立体

国道23号(じゅういちや ほうじん十一屋・宝神交差点間)については、交通状況を踏まえ、名古屋市と連携し、整備方針を検討するための調査を実施します。

国道25号名阪国道の必要な事故対策等も含めた、奈良・三重間のネットワークのあり方について、調査検討を実施します。

名神名阪連絡道路について、計画の具体化に向けて滋賀県及び三重県と連携して進めます。

伊豆湘南道路について、計画の具体化に向けて神奈川県及び静岡県と連携して、東名、新東名、国道1号の代替性など、広域的な視点も含めた道路として求められる機能や役割に加えて、地形・地質上の課題等の検討を進めます。

岳南地域(がくなん富士市・富士宮市)については、交通円滑化や幹線道路の機能強化等に係る調査を静岡県等の関係機関と連携して進めます。

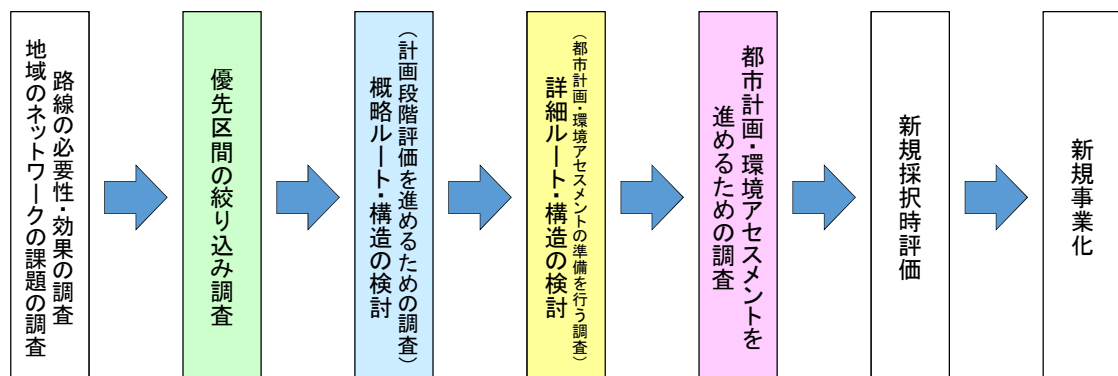
小松白川連絡道路について、石川・岐阜間のネットワークのあり方について、石川県及び岐阜県と連携して検討を進めます。

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

また、中京圏周辺のボトルネック箇所への集中的対策に向けた調査を推進します。

さらに、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

<道路調査の流れ>



令和7年度の道路調査の見通しについて（交通拠点）

静岡駅及び津駅周辺において、関係自治体と連携し、地域の意向を把握しつつ、交通拠点における機能強化・再編の必要性等の調査を実施します。

さらに、地域における道路交通に関する課題を把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、道路ネットワークにおける拠点の機能強化の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

<交通拠点の調査の流れ>

